

香淳皇后実録 卷十二

昭和六十四年・平成元年（西暦一九八九年） 八十六歳

一月

一日 日曜日 午前、新年につき、吹上御所において、総代の侍従長・侍従次長・女官長の祝賀を受けになる。ついで皇太子・同妃、徳仁親王、文仁親王、清子内親王より、また正仁親王・同妃華子より順次祝詞言上をお受けになる。なお、天皇は昨年九月以来、御病床^{吹上御所御寢室}にある。○女官日誌、侍従日誌、侍従職日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、儀式録、卜部亮吾侍従日記

二日 月曜日 午前、吹上御所において、天皇のお見舞いに参殿の池田厚子と御対面になる。○女官日誌、侍従日誌、侍従職日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌

三日 火曜日 元始祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○女官日誌、恒例祭祀録、祭典録

五日 木曜日 午前、吹上御所において、天皇のお見舞いに参殿の正仁親王・同妃華子と御対面になる。○女官日誌、侍従日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌

六日 金曜日 午前、吹上御所において、天皇のお見舞いに参殿の皇太子・同妃、清子内親王と御対面になる。○女官日誌、侍従日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、卜部亮吾侍従日記

七日 土曜日 午前四時過ぎより天皇の御容体急変につき、吹上御所の御寢室に入られ、参殿の皇太子・同妃始め皇族・御親族と共に天皇をお見舞いになる。一旦御退出のところ、六時三十三分天皇崩御につき、再び御寢室にお出ましになり、暫時御尊骸とのお別れの時を過ごされる。

崩御に伴い、皇太子明仁親王が皇位を継承され天皇となられたため、皇后は皇太后となられる。また、皇太子妃は皇后となられ、徳仁親王は皇太子となる。

七時一分、宮内庁長官藤森昭一より天皇崩御の旨の奏上を受けられる。ついで、大行天皇の御尊骸のお口元に水を差し上げられる。引き続き天皇・皇后が水を差し上げられ、皇太子始め皇族・御親族、

側近奉仕者がこれに続く。暫時の後、御尊骸は御寢室から櫛殿^{吹上御所一階御居間}に移される。十時三十分過ぎ櫛

殿に出御され、拝訣を行われる。ついで天皇・皇后が拝訣を行われる。また、この日より翌日にかけて皇太子始め皇族・元皇族・元公族・御親族、内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・最高裁判所長官等、宮内庁長官以下の総代、参与、側近奉仕者その他の拝訣がある。

午後、吹上御所に参殿された天皇・皇后と御対面になる。

この日以降、オランダ国女王及び王配、ローマ法王、アイルランド国大統領、英国女王、トンガ国王、パラグアイ国大統領、ヨルダン国国王、ネパール国皇太后より皇太后に弔電が寄せられる。これに対して後日、クーデター発生のパラグアイを除き、天皇より答電を寄せられる。また、元駐日米国特命全権大使マイク・マンズフィールド、元フランス国首相ジャック・シラクより皇太后に弔電が寄

せられる。これに対しては後日、天皇の御謝意が式部官長を通じて伝達される。なお、国際赤十字機関より日本赤十字社に弔電及び弔辞が寄せられた旨の同社社長からの報告が御覧に供される。○女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従日誌、内舍人日誌、東宮職日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、昭和天皇大喪関係書綴、外交慶弔録、昭和天皇大喪儀記録、皇親録、宮内庁庁報、官報、昭和天皇大喪の礼記録、産経新聞

崩御に伴い、天皇・皇后・皇太后は一年間第一期五十日、第二期五十日、第三期二百六十五日服喪される。皇太子始め皇族も一年間服喪する。○大喪関係録、臨時儀式録、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報

この日、天皇崩御に伴い、日本赤十字社定款により同社名誉総裁昭和二十二年一月二十一日御就任を御退任になり、新たに皇后が名誉総裁に就任される。その後、平成元年二月三日付の日本赤十字社社長より宮内庁長官に宛てた文書により、同社から皇太后への謝意が表明される。○皇親録

八日 日曜日 この日、元号が「平成^{へいせい}」と改められる。○宮内庁庁報、官報、昭和天皇大喪の礼記録
午前、吹上御所において、天皇・皇后及び皇太子・文仁親王・清子内親王と共に橿殿に祇候される。以後、十九日の殯宮移御の儀まで毎日橿殿祇候が行われるも御参列はなく、十五日より毎日御拝礼のみ行われる。

夕刻、大喪儀関連行事として御舟入執行につき、橿殿に出御され、御参列の天皇・皇后・皇太子始め皇族・御親族等と共に、大行天皇の御愛用品を御内槽にお納めになる。○女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職

日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、昭和天皇大喪関係書綴、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報

九日 月曜日 夕刻、大喪儀関連行事として斂棺を執行につき、橿殿に出御され、最後のお別れの御拝顔を行われる。同じく御参列の天皇・皇后及び皇太子始め皇族、御親族等がこれに続かれる。それ

昭和六十四年・平成元年一月

より御内槽が御棺に斂められ、御浜床の上に奉安された後、皇太后、続いて天皇・皇后が御拝礼になり、ついで皇太子始め参列者が拝礼する。○女官日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、昭和天皇大喪関係書綴、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、卜部亮吾侍従日記

十日 火曜日 午前、吹上御所において、観殿祇候を終えられた天皇・皇后と御対面になる。以後、天皇・皇后と随時、御対面・御会食になる。○女官日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報

十一日 水曜日 この日、宮内庁に皇太后宮職が設置される。これに伴い、侍従次長安楽定信が皇太后宮大夫兼侍従次長に、女官長北白川祥子が皇太后宮女官長に任じられ、皇室医務主管兼侍医長高木顕が皇太后宮侍医長に兼ねて任じられる。また、女官久保喜美子、同小野慰子、同福永泰子、同田村和子、同安藤桃子が皇太后宮女官に、侍医大橋敏之、同加藤健三、同伊東貞三が皇太后宮侍医に任じられる。さらに侍従中村賢二郎が皇太后宮職参事^{総理府事務官}に任じられる。○皇太后宮お日誌、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、官報

十三日 金曜日 この日、皇室の行事として行われる天皇大喪儀中各儀^{山陵起工奉告の儀・山陵竣工奉告の儀・権殿一周年祭の儀・山陵一周年祭の儀を除く}の期日が公示される。また、大行天皇の追号が昭和天皇と定められる。○昭和天皇大喪儀記録、昭和天皇大喪の礼記録、宮内庁庁報、官報

十四日 土曜日 午後、吹上御所において、元侍医長西野重孝の拝謁を受けられる。○皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌

十六日 月曜日 午前、観殿十日祭執行につき、天皇・皇后、皇太子始め皇族・元皇族・御親族に続

き、御拝礼になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、昭和天皇大喪関係書綴、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報

午後、吹上御所において、東伏見慈洽^{御弟}と御対面になる。以後、皇太子始め皇族・御親族と随時、御対面・御会食になる。○皇太后宮女官日誌

十九日 木曜日 この日、天皇大喪儀中殯宮移御の儀が行われる。夕刻、靈柩が櫬殿を御出發、天皇・皇后がこれに続かれる。皇太后は御列の最後尾に続かれ、大広間出口にお出ましになり、靈柩を奉遷した靈輦の御出發をお見送りになる。靈輦が宮殿に御到着後、靈柩は殯宮^{正殿松の間}に移られる。○皇太后宮

女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、臨時儀式録、天皇大喪儀、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、官報

二十日 金曜日 朝、吹上御所内に昨日設けられた隔殿に出御され、御拝礼になる。夜、再び御拝礼になる。以後、翌年一月六日まで、ほぼ毎日隔殿に出御され、御拝礼になる。○皇太后宮女官日誌

午前、天皇大喪儀中殯宮移御後一日祭の儀が行われる。儀終了後、車椅子にて殯宮に出御され、御拝礼になる。終わって桐の間に移られ、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、内舍人日誌、御大喪録、昭和天皇大喪関係書綴、天皇大喪儀、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、官報、卜部亮吾侍従日記

二十六日 木曜日 午前、天皇大喪儀中殯宮二十日祭の儀が行われる。儀終了後、車椅子にて殯宮に出御され、御拝礼になる。終わって、桐の間において天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、天皇大喪儀、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、官報

三十一日 火曜日 午前、殯宮において天皇大喪儀中追号奉告の儀が行われる。儀終了後、吹上御所

平成元年二月

に参殿された天皇・皇后及び文仁親王と御対面になり、御報告を受けられる。また、文仁親王より修学のため翌日英国へ出発の挨拶を受けられる。

この日内閣告示をもって、大行天皇の追号は去る十三日に昭和天皇と定められた旨が公示される。○

皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、天皇大喪儀、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、官報

二月

五日 日曜日 午前、天皇大喪儀中殯宮三十日祭の儀が行われる。儀終了後、車椅子にて殯宮に出御され、御拝礼になる。ついで桐の間に移られ、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮

お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、天皇大喪儀、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、官報

七日 火曜日 午後、隔殿拝礼のため参殿の宮内庁長官藤森昭一・侍従長山本悟・皇太后宮大夫安楽定信の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、侍従職日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌

九日 木曜日 午後、吹上御所において、正仁親王妃華子と御対面になり、大喪の礼並びに天皇大喪儀中斂葬の儀葬場殿の儀及び陵所の儀に当たり、新宿御苑及び武蔵陵墓地に皇太后御名代として御差遣の御沙汰拝命につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹

上御所殿部日誌、臨時儀式録、昭和天皇大喪儀記録

十四日 火曜日 この日、天皇大喪儀中斂葬の儀を平成元年二月二十四日に新宿御苑及び陵所において行うこと、及びその次第等が公示される。また、同日に行われる大喪の礼の細目が公示される。○

昭和天皇大喪儀記録、宮内庁序報、官報

十五日 水曜日 午前、天皇大喪儀中殯宮四十日祭の儀が行われる。儀終了後、車椅子にて殯宮に出御され、御拝礼になる。ついで桐の間に移られ、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后

宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、天皇大喪儀、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁序報、官報

二十三日 木曜日 夕刻、天皇大喪儀中霊代奉安の儀が行われる。儀終了後、宮殿に出御され、殯宮の霊柩と権殿<sup>表御座所
芳菊の間</sup>の霊代に御拝礼になり、最後のお別れをされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍

従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、天皇大喪儀、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁序報、官報

二十四日 金曜日 午前七時三十分より天皇大喪儀中斂葬当日殯宮祭の儀、ついで輜車発引の儀が行われる。輜車発引の儀の時刻に合わせて、皇太后は吹上御所内の隔殿に出御され、お見送りのための御拝礼を行われる。

十時十三分より新宿御苑において、天皇大喪儀中斂葬の儀葬場殿の儀が行われる。天皇・皇后に続き、皇太后御名代として正仁親王妃華子が葬場殿において御拝礼になる。十一時五十八分より国の儀式として大喪の礼が行われる。外国元首・外国弔問使節による拝礼に際しては、天皇・皇后及び皇太后御名代が御自席において起立され、御答礼のため御会釈になる。大喪の礼の時間に合わせ、皇太后は吹上御所において黙禱をされる。

午後、武蔵陵墓地において天皇大喪儀中斂葬の儀陵所の儀が行われ、祭場殿において天皇・皇后及び皇太后御名代等が霊柩に最後の御拝礼をされる。ついで霊柩が陵所の御石槨に斂められた後、天皇・皇后に続いて皇太后御名代等が御石槨に土を掛けられる。その後、祭場殿の儀が行われ、天皇・皇后

平成元年二月

に続いて皇太后御名代等が御拝礼になる。午後八時五十六分斂葬の儀はすべて終了する。この日、皇太后は、吹上御所において、テレビにて斂葬の儀の様子を御覧になる。

この日、昭和天皇陵の陵名は「武蔵野^{むさしののみさぎ}陵」と定められ、この月二十七日に公示される。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、臨時儀式録、天皇大喪儀、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、官報、昭和天皇大喪の礼記録

二十五日 土曜日 午前、吹上御所において、池田隆政・同夫人厚子、島津久永・同夫人貴子及び禎久と御対面になり、昨日斂葬の儀終了につき御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌

この日、皇太后宮大夫安楽定信を天皇・皇后の許に差し遣わされ、昨日斂葬の儀終了につき御機嫌伺いをお申し入れになる。○皇太后宮女官日誌

二十六日 日曜日 天皇大喪儀中斂葬後一日権殿祭・同山陵祭及び権殿五十日祭・山陵五十日祭が昨二十五日行われ、この日第一期御喪明けにつき、午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、天皇大喪儀、昭和

天皇大喪儀記録、宮内庁庁報、官報

二十七日 月曜日 午前、宮殿に出御され、権殿において御拝礼になる。以後、昭和天皇の月命日を始めとして概ね月に二、三回の割合にて、権殿において御拝礼になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌

二十八日 火曜日 この日、タイ国国王妃シリキットより、大喪の礼に参列したタイ国皇太子ワチラ

ロンコーンを通じて皇太后への装飾品^{小箱}の御贈進がある。ついで四月四日、同国王ラーマ九世<sup>プミボ
ン・ア
ドゥンヤ
デート</sup>・王妃より、非公式に訪日の王女チュラポーンを通じて切り花が、また同王女より果物の御贈進がある。いずれに対しても後日、式部官長より在京同国特命全權大使に御謝意が伝達される。○外交
贈答録

三月

六日 月曜日 満八十六歳のお誕生日を迎えられる。

午前、吹上御所において、皇太后宮大夫・皇太后宮職参事・皇太后宮女官長始め皇太后宮女官等、続いて宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長より御機嫌伺いをお受けになる。ついで皇太子・清子内親王と御対面になり、御機嫌伺いをお受けになる。その後、天皇・皇后及び正仁親王・同妃華子と御対面になり、御昼餐を御会食になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、吹上御所日誌、行事録、行幸啓・行啓・お成り、宮内庁報告

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、御日常については落ち着いておられ、腰・膝の状態も安定し、吹上御所においては皇太后宮女官の介添えによってお歩きになること、毎日朝と夜の二度隔殿において御拝礼になっていること、お誕生日当日は御服喪中のため祝賀行事はないことなどが発表される。○内廷皇族等誕生日綴、皇太后

七日 火曜日 武蔵野陵<sup>昭和天
皇陵</sup>の御代拝を皇太后宮女官小野慰子に仰せ付けられる。以後、月命日には

平成元年四月

皇太后宮女官に山陵の御代拝を仰せ付けられる。○皇太后宮女官日誌、侍従職日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、昭和

天皇大喪儀記録、昭和天皇大喪儀記録原資料綴

九日 木曜日 昭和天皇御大患の際の労いのため、侍従長山本悟・侍従次長安楽定信・侍従田中直始め侍従六名、侍従職参与徳川義寛・同西野重孝・侍医長高木顕始め侍医五名、及び皇太后宮女官長以下の側近奉仕者をお召しになり、吹上御所において御夕餐を共にされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌、卜部亮吾侍従日記

三十一日 金曜日 午後、吹上御所において、今般退官の前皇太后宮侍医内田俊也の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、吹上御所仕人日誌、吹上御所殿部日誌

四月

十二日 水曜日 武蔵野陵^{昭和天皇}に行啓のため、午前十時二十八分御出門になる。陵前に御到着後、祭

場殿内の御拝座において拝礼される。終わって、陵所御休所において御昼餐をお召し上がりになる。

午後一時五十二分還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、内舍人日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、天皇大喪儀、

幸啓録、行幸啓・行啓・お成り、宮内庁庁報

十六日 日曜日 昭和天皇百日祭が行われる。権殿の儀・山陵の儀共に御拝礼・御代拝はないことと

される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、内舍人日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、天皇大喪儀、昭和天皇大喪

儀記録、宮内庁庁報、官報

十八日 火曜日 夕刻、吹上御所において、この日二十歳の誕生日を迎えた清子内親王と御対面にな

る。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

五月

一日 月曜日 午前、吹上御所において、新任の皇太后宮侍医戸塚康男、皇太后宮職御用掛白戸厚・同諏訪部信、今般自治省に転出の前侍従井原好英の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、

皇太后宮職殿部仕人日誌、恩賜録、宮内庁庁報、官報

二十六日 金曜日 午前、昨年十二月十一日より済生会中央病院において病氣療養中の鷹司和子が死去する。よつて、権殿の御拝礼をお取りやめになり、三十日間第一期十日、第二期二十日服喪される。

午後、吹上御所において、皇太后宮大夫安樂定信、皇太后宮職参事中村賢二郎、皇太后宮女官長北白川祥子、当直の皇太后宮女官より御機嫌伺いをお受けになる。その後、お見舞いに参殿した天皇・皇后及び皇太子・清子内親王、続いて正仁親王・同妃華子と御対面になる。夕刻、宮内庁職員を代表して宮内庁長官藤森昭一よりお悔やみの言上をお受けになる。また、霊前に枕花・果物をお供えになり、弔問使皇太后宮使として皇太后宮女官久保喜美子を鷹司尚武邸に差し遣わされる。

鷹司和子は、昭和四年九月三十日に昭和天皇の第三皇女として誕生する。身位は内親王で、孝宮と称する。二十五年五月二十日に鷹司平通に帰嫁して皇族の身分を離れる。昭和四十九年より六十三年まで神宮祭主を務める。享年五十九。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜

録、宮内庁庁報、読売新聞、朝日新聞

平成元年六月・七月・八月

三十一日 水曜日 午後、護国寺桂昌殿において故鷹司和子の葬儀執行につき、葬場使<sup>皇太后
宮使</sup>として皇太后宮職参事中村賢二郎を差し遣わされる。また、霊前に生花・菓子をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録、宮内庁庁報

六月

十二日 月曜日 午前、皇居東御苑にお出ましになり、車椅子にて二の丸庭園を御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十日 火曜日 午前、吹上御所において、この日退職の前式部官長安倍勲の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報、官報

七月

十一日 火曜日 献血事業の緊要性に鑑み、当該事業振興のため、昭和天皇から受け継がれた御遺金の中から金一封を天皇・皇太后が日本赤十字社に賜う。日本赤十字社は、この賜金に同社の資金を加えてこの年十一月一日に昭和天皇記念血液事業基金を創設し、献血の推進及び血液学の進歩発展に特に功績を残した団体や個人に対し、毎年表彰<sup>昭和天皇記念献血推進賞、
昭和天皇記念学術賞</sup>等を行うこととなる。○賜与録

八月

十四日 月曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后・清子内親王と御対面になり、来る十六日ス

ペイン国への旅行に出発する清子内親王より挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

十八日 金曜日 那須御用邸に行啓のため、午前九時三十六分御出門、午後零時三十四分同邸に御到着になる。御格子前、那須御用邸に移された隔殿において御拝礼になる。以後、御用邸御滞在中、毎日隔殿において御拝礼になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、幸啓録、行幸啓・行啓・お成り、宮内庁庁報

三十一日 木曜日 午後一時十七分那須御用邸を御出門、四時十九分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、幸啓録、行幸啓・行啓・お成り、宮内庁庁報

九月

十二日 火曜日 午前、吹上御所において、皇太后宮大夫より、この日の皇室会議において文仁親王と川嶋紀子の婚約が正式に決定した旨の報告を受けられる。午後、文仁親王と川嶋紀子は吹上御所に参殿し、皇太后宮大夫に挨拶を申し入れる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報、官報

二十五日 月曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后及び文仁親王と御対面になり、文仁親王より修学のため翌日英国へ出発の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

二十九日 金曜日 平成元年度国民たすけあい共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会

平成元年十月・十一月

に、事業御奨励のため金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

十一日 水曜日 昨夜より御風気につき、終日吹上御所において静かにお過ごしになる。○皇太后宮女官

日誌、卜部亮吾侍従日記

十一月

十日 金曜日 午後、日本赤十字病院に入院中の東久邇稔彦をお見舞いのため、皇太后宮職参事中村賢二郎を差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌

『増補新訂 錦芳集』の収益金を、平時救護事業のため昭憲皇太后基金に加えるよう、日本赤十字社を通じて昭憲皇太后基金管理合同委員会に賜う。○宮内庁庁報、事業年報（日本赤十字社）

十五日 水曜日 午後、かねて京都日本赤十字第二病院に入院療養中の大谷智子御妹が死去する。よつ

て、三十日間第一期十日、第二期二十日服喪される。この日、霊前に枕花をお供えになる。なお同人の病氣療養中には生花を賜う。

大谷智子は明治三十九年、邦彦王第三王女として誕生する。大正十三年、伯爵大谷光演の嗣子光暢に帰嫁して臣籍に降下し、四男二女を儲ける。享年八十三。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、侍従職日誌、贈

賜録、宮内庁庁報、朝日新聞、読売新聞

十六日 木曜日 午後、吹上御所において、大谷智子死去につきお悔やみに参殿した天皇・皇后及び

皇太子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

十七日 金曜日 午後、吹上御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、大谷智子死去につき御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十二日 水曜日 午前、永年勤続表彰の皇太后宮大夫安樂定信・侍従田中直・同卜部亮吾・同小林忍の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報、卜部亮吾侍従日記

十二月

四日 月曜日 この日、京都市の大谷婦人会館大谷ホールにおいて故大谷智子の本通夜執行につき、霊前に生花・菓子をお供えになる。翌五日、同所において葬儀執行につき、御使として京都事務所次長吉田功を差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、贈賜録

七日 木曜日 午前、隔殿において、宮内庁長官藤森昭一・侍従長山本悟・皇太后宮大夫安樂定信に御会釈を賜う。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌

十五日 金曜日 東本願寺東京別院において故大谷智子一箇月追弔法要執行につき、香を賜う。○皇太后宮女官日誌、贈賜録

二十日 水曜日 武蔵野陵において行われる山陵一周年祭の儀に、皇太后御名代として正仁親王妃華子を差し遣わされることとされる。翌二十一日、正仁親王妃は吹上御所に参殿し、御名代拝命の挨拶を皇太后宮女官長に申し入れる。○皇太后宮職殿部仕人日誌、昭和天皇大喪儀記録

二十八日 木曜日 午後、隔殿において、宮内庁長官及び側近奉仕者より歳末の挨拶を受けられる。

平成二年一月

終わって、正仁親王・同妃華子と御対面になり、歳末の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮
お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

平成二年（西暦一九九〇年） 八十七歳

一月

一日 月曜日 朝と夕刻、吹上御所内の隔殿にお出ましになり、御拝礼になる。以後、六日まで毎日
隔殿を御拝礼になる。○皇太后宮女官日誌

四日 木曜日 新年につき、午前、吹上御所において、午前、天皇・皇后、皇太子、清子内親王と御
対面になる。午後、宮内庁長官、侍従長、皇太后宮大夫、皇太后宮侍医長ほかの拝謁を受けられ、つ
いで正仁親王・同妃華子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

五日 金曜日 午前、吹上御所において、昨日英国より一時帰国の文仁親王と御対面になり、挨拶
を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

七日 日曜日 午前、昭和天皇大喪儀中権殿一周年祭の儀が行われる。出御はなく、儀式終了後に権
殿<sup>表御座所
芳菊の間</sup>において御拝礼になる。午後、武蔵野陵において執行の昭和天皇大喪儀中山陵一周年祭の儀
には、御名代として正仁親王妃華子を差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕

人日誌、昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報

八日 月曜日 御喪明けにつき、午後、吹上御所において、池田厚子・島津貴子と御対面になり、御機嫌伺いを受けられる。ついで、参殿の高木文子^{御孫}・東優子^{御孫}より御喪明けの御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

九日 火曜日 午前、宮殿において昭和天皇霊代奉遷の儀中権殿の儀が行われ、皇太后宮女官久保喜美子を権殿に差し遣わされ、御代拝を仰せ付けられる。ついで霊代が宮殿をお発ちになり賢所正門にお着きになる間、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、

昭和天皇大喪儀記録、宮内庁庁報

午後、皇太后宮大夫安楽定信、皇太后宮侍医長高木顕、侍従田中直・卜部亮吾・小林忍、皇太后宮職参事中村賢二郎、皇太后宮侍医大橋敏之等より御喪明けの挨拶を受けられる。この日、御喪明けにつき、皇太后宮女官長北白川祥子を赤坂御所に差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

十日 水曜日 御喪明けにつき、午前、吹上御所において、天皇・皇后、皇太子、文仁親王と御対面になり、夕刻には正仁親王・同妃華子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、行幸啓・行啓・お成り

昭和天皇の一周年祭に当たり、長寿科学振興事業の御奨励のため、昭和天皇から受け継がれた御遺金の中から金一封を天皇・皇太后より長寿科学振興財団に賜う。○賜与録、行幸啓・行啓・お成り

十二日 金曜日 午前、文仁親王と川嶋紀子の納采の儀が行われる。午後、吹上御所において、天皇・

平成二年一月

皇后、文仁親王と御対面になり、納采の儀終了の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、

皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

十三日 土曜日 午前、吹上御所において、文仁親王と御対面になり、翌日再び修学のため英国へ出発につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

十七日 水曜日 多摩陵^{大正天皇}・多摩東陵^{貞明皇后}の御代拝を皇太后宮女官小野慰子に仰せ付けられる。以後毎年、貞明皇后もしくは大正天皇の月命日に合わせ両陵に皇太后宮女官を差し遣わされる。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十日 土曜日 この日、東久邇稔彦^{御父邦彦王の弟}が日赤医療センターにおいて死去する。よって七日間服喪される。夕刻、吹上御所において、天皇・皇后・皇太子と御対面になり、御機嫌伺いをお受けになる。同人の死去に当たり、弔問使として皇太后宮職参事中村賢二郎を東久邇邸に差し遣わされ、また霊前に盛花をお供えになる。なお、昨十九日には、お見舞いのため、御使として皇太后宮女官長を日赤医療センターに差し遣わされる。

東久邇稔彦は、明治二十年十二月三日朝彦親王第九王子として誕生、三十九年十一月東久邇宮と称する。大正四年五月十八日明治天皇第九皇女の聡子内親王と結婚する。戦前は陸軍の軍籍にあり、終戦後の昭和二十年八月十七日より十月九日まで内閣総理大臣を務める。^{八月二十二日まで。では兼陸軍大臣}二十二年十月十四日

皇族の身分を離れ、東久邇姓を名乗る。享年百二。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、

皇親録、贈賜録

二十二日 月曜日 午後、吹上御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、御服喪の御機嫌

伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十四日 水曜日 故東久邇稔彦の本通夜につき、柩前使として皇太后宮職参事中村賢二郎を豊島岡墓地の葬祭場に差し遣わされる。また、霊前に榊・菓子をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録

二十六日 金曜日 故東久邇稔彦の葬儀執行につき、葬場使^{皇太后宮使}として皇太后宮職参事中村賢二郎を

豊島岡墓地の葬祭場に差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録

二十七日 土曜日 東久邇稔彦死去に伴う御喪明けにつき、天皇・皇后より生花・菓子の御贈進を受けられる。○皇太后宮職殿部仕人日誌

二月

一日 木曜日 吹上御所において、天皇・皇后・皇太子・清子内親王と御昼餐を御会食になる。以後、この年は概ね月一回程度、天皇・皇后と御対面・御会食になる。また、皇太子始め皇族・御親族とも随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

三日 土曜日 宣仁親王三年式年祭につき、皇太后宮使として皇太后宮職参事中村賢二郎を霊舎及び墓所に差し遣わされ、玉串をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録、宮内庁庁報

七日 水曜日 昭和天皇月命日につき、御代拝のため武蔵野陵に皇太后宮女官福永泰子を差し遣わされる。以後毎年、昭和天皇の月命日に武蔵野陵に皇太后宮女官を差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

平成二年三月

二十二日 木曜日 午前、宮殿より吹上御所に還御の際、御料車の車中より日本ばら会会員に御会釈を賜う。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十三日 金曜日 午前、吹上御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

二十六日 月曜日 午後、吹上御所において、元祭官長永積寅彦^{元掌典長}の拝謁を受けられる。米寿を迎えた同人に對し、白羽二重等を賜う。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録

二十八日 水曜日 この日、赤坂東邸に移転の皇太子に、万那料及びお品を御贈進になる。なお、この日、皇太子の御在所を東京都港区元赤坂二丁目一番四号の赤坂東邸に定められ、東宮仮御所と称する旨が宮内庁より告示される。○贈賜録、宮内庁庁報、官報

三月

六日 火曜日 満八十七歳のお誕生日を迎えられる。

午前、吹上御所において、天皇・皇后・皇太子・清子内親王の祝賀をお受けになる。ついで正仁親王・同妃華子始め皇族、御縁故者等より祝詞言上を、宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長・皇太后宮大夫及び皇太后宮職の側近奉仕者等の祝賀をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、皇太后、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、午前七時過ぎにお目覚めになり、午後九時頃にお休みになること、昨年一年は隔殿に朝晩御拝礼になられたが、昭和天皇一周年祭終了後は御座

所の写真を毎朝御拝礼になること、月一回御参殿の天皇・皇后及び皇太子・清子内親王と、また時々正仁親王・同妃とも御会食になること、昨年秋頃から、御外出時だけでなく吹上御所内においても車椅子の御使用が次第に多くなっているが御体調に変化はないこと、条件を整えばこの月下旬に十日余り葉山御用邸における御静養を検討していることなどが発表される。○皇太后、内廷皇族等誕生日綴、行幸啓・行啓・お成り

九日 金曜日 新たに皇太后宮職御用掛を拝命の白戸厚・諏訪部信・戸塚康男をお召しになり、御夕餐を共にされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

十二日 月曜日 午前、吹上御所において、清子内親王と御対面になり、成年の挨拶を受けられる。この日、天皇・皇后・清子内親王に鮮鯛代料を、清子内親王にお品代料・お万那料・洋服地^{紅葉山御養蚕所産}を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録、皇親録、宮内庁庁報

十四日 水曜日 午前九時五十八分御出門、武蔵野陵^{昭和天皇陵}に行啓される。車椅子にて陵前の御拝座まで進まれ、御拝礼になる。終わって、陵所御休所にて御昼餐をお召し上がりになる。午後一時十七分

皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、幸啓録、行幸啓・行啓・お成り、宮内庁庁報

二十日 火曜日 葉山御用邸に行啓のため、午前十時御出門、十一時二十三分同邸に御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、幸啓録、宮内庁庁報

三十日 金曜日 午後一時四十分葉山御用邸を御出門、三時三分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、幸啓録、宮内庁庁報

平成二年四月・五月

四月

三日 火曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮
お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

八日 日曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百本}を賜う。○贈賜録

十八日 水曜日 午後、吹上御所において、この日誕生日を迎えた清子内親王と御対面になる。○皇太
后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

二十七日 金曜日 憲仁親王妃久子内着帯につき、憲仁親王・同妃に万那代料を御贈進になる。○贈賜
録

五月

十一日 金曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になる。なお、この日文仁親王結婚
の儀中告期の儀が行われる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

十三日 日曜日 母の日につき、天皇・皇后より盛花の御贈進を受けられる。○皇太后宮職殿部仕人日誌

二十日 日曜日 午後、吹上御所において、昨十九日霞会館において執行の鷹司和子一周忌法要^{命日は五月二}

^{十六}日のため上京した池田厚子と御対面になり、挨拶を受けられる。なお、法要に当たっては、霊前に生
花・菓子をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録

六月

八日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園を車椅子にて御散策になり、ハナシヨウブ等を御覧になる。
○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十二日 金曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后及び文仁親王^{昨二十一日帰国}と御対面になり、文仁

親王より英国修学終了の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録、

宮内庁庁報

二十九日 金曜日 この日、文仁親王結婚の儀が行われる。また、天皇より文仁親王に^{あきしのみや}秋篠宮の称

号を賜う。午後の朝見の儀終了後、吹上御所に参殿の文仁親王・同妃紀子と御対面になり、挨拶を受けられる。親王・同妃退出後、宮内庁長官藤森昭一・侍従長山本悟の拝謁を受けられ、祝詞言上をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報、官報

七月

十七日 火曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になる。ついで参殿の文仁親王・同妃紀子と御対面になり、結婚の諸儀式終了につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、

皇太后宮職殿部仕人日誌

二十日 金曜日 憲仁親王妃久子着帯につき、憲仁親王・同妃久子に万那代料を御贈進になる。○贈賜

録

平成二年八月・九月

八月

十六日 木曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后、皇太子、文仁親王・同妃紀子、清子内親王と御対面になる。皇太子よりベルギー国への旅行に出発につき、清子内親王より米国及びカナダ国への旅行に出発につき、それぞれ挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、行幸啓・行啓・お成り、宮内庁庁報

十七日 金曜日 那須御用邸に行啓のため、午前九時三十四分御出門、午後零時二十三分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、幸啓録、行幸啓・行啓・お成り、宮内庁庁報

九月

三日 月曜日 午後一時二十分那須御用邸を御出門、四時十三分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、幸啓録、行幸啓・行啓・お成り、宮内庁庁報

七日 金曜日 午前、吹上御所において、昭和天皇月命日より御参殿の天皇・皇后、皇太子、清子内親王、文仁親王・同妃紀子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

九日 日曜日 久邇^御親王^母祥月命日につき、終日静かにお過ごしになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

十一日 火曜日 午前、吹上御所において、この日誕生日を迎えた文仁親王妃紀子と御対面になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

十五日 土曜日 憲仁親王妃久子第三王女出産につき、この日、崇仁親王・同妃百合子、憲仁親王・

同妃に三種交魚代料を御贈進になる。この日誕生した王女は、誕生七日目に当たる二十一日に絢子^{あやこ}と命名される。命名の儀当日に、憲仁親王・同妃、絢子女王に鮮鯛代料を御贈進になる。○皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録、宮内庁庁報、官報

二十八日 金曜日 平成二年度国民たすけあい共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励のため金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

十七日 水曜日 神嘗祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報
二十六日 金曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、去る二十日皇后誕生日につき御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、内廷皇族等誕生日綴

十一月

九日 金曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、来る十二日即位礼挙行につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、宮内庁庁報

十二日 月曜日 この日即位礼当日賢所大前の儀、即位礼当日皇靈殿神殿に奉告の儀、即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀、並びに饗宴の儀が挙行される。午前の賢所大前の儀に際しては、吹上御所において御遙拝になる。なお、テレビにて賢所大前の儀、即位礼正殿の儀及び祝賀御列の儀を御覧になる。午後、皇太后御使として皇太后宮職参事中村賢二郎を赤坂御所に差し遣わされ、お慶びとして天皇に

平成二年十一月

お品及び生鯛・昆布・柳樽を、皇后にもお品及び生鯛・柳樽を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后

宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録、宮内庁庁報、官報

十四日 水曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、去る十二日即位礼正殿の儀終了につき、御挨拶を受けられる。終わって揃いにて、皇太后宮大夫安樂定信、皇太后宮職参事中村賢二郎、皇太后宮女官長北白川祥子、皇太后宮侍医長高木顕以下より祝賀を受けられる。天皇・皇后御退出後、参殿の宮内庁長官藤森昭一、侍従長山本悟、宮内庁次長宮尾盤、侍従次長重田保夫より祝賀を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

十六日 金曜日 午後、吹上御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、即位礼の終了につき御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌

二十二日 木曜日 この日夜より翌日早暁にかけて大嘗祭大嘗宮の儀挙行につき、吹上御所においてお慎みになる。翌日、御使として皇太后宮職参事中村賢二郎を赤坂御所に差し遣わされ、お慶びとして天皇に生鯛・鯛・昆布・柳樽を、皇后に生鯛・昆布・柳樽を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后

宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録、宮内庁庁報、官報

二十四日 土曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、大嘗宮の儀終了につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十八日 水曜日 午後、吹上御所において、この日誕生日を迎えた正仁親王と御対面になる。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

三十日 金曜日 午前、吹上御所において、この日誕生日を迎えた文仁親王と御対面になる。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

十二月

六日 木曜日 この日即位礼及び大嘗祭の諸儀終了につき、皇太后宮使として皇太后宮職参事中村賢二郎を赤坂御所に差し遣わされ、天皇・皇后にそれぞれ五種肴魚を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌、贈賜録、宮内庁序報

七日 金曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、即位礼及び大嘗祭の諸儀終了につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

八日 土曜日 午後、吹上御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、即位礼及び大嘗祭の諸儀終了につき御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十三日 日曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、天皇誕生日の御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十五日 火曜日 大正天皇例祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、

宮内庁序報

二十六日 水曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后、皇太子、清子内親王、文仁親王・同妃紀子と御対面になり、歳末の御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

二十八日 金曜日 午後、吹上御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、歳末の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部仕人日誌

平成二年十二月

平成三年一月

平成三年（西暦一九九一年） 八十八歳

一月

一日 火曜日 新年につき、午前、吹上御所において、皇太后宮大夫始め側近奉仕者、及び皇太后宮職職員の祝賀をお受けになる。午後、同じく吹上御所において、宮内庁長官始め総代、及び元側近奉仕者の祝賀を、続いて故宣仁親王妃喜久子、正仁親王・同妃華子、文仁親王・同妃紀子、崇仁親王・同妃百合子、寛仁親王・同妃信子、憲仁親王・同妃久子の祝賀を、ついで天皇・皇后、皇太子、清子内親王の祝賀を順次お受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

七日 月曜日 昭和天皇祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。午後、吹上御所において、同祭皇霊殿の儀に参列した皇太后宮大夫以下の側近奉仕者、並びに元側近奉仕者の拝謁を受けられる。また、参殿の高木文子^御_孫・東久邇真彦^御_孫、さらに正仁親王と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お

日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

八日 火曜日 午後、吹上御所において、池田厚子・島津貴子と御対面になる。以後、皇太子始め皇族・御親族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

十一日 金曜日 安寧天皇二千五百年式年祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后

宮女官日誌、宮内庁庁報

二十一日 月曜日 元宮内庁長官宇佐美毅去る十九日死去につき、霊前に盛菓子・生花を賜う。二十日、護国寺桂昌殿において葬儀執行につき、葬場使として皇太后宮職参事中村賢二郎を差し遣わされる。宇佐美は、昭和二十八年から五十三年まで宮内庁長官を務めた。○皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料

二十四日 木曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になる。以後、この年は概ね月二回程度、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

二十七日 日曜日 邦彦王^{御父}祥月命日につき、終日静かにお過ごしになる。○皇太后宮女官日誌、吹上御所仕人日誌

三十日 水曜日 孝明天皇例祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

二月

四日 月曜日 午前、吹上御所において、故宣仁親王妃喜久子と御対面になり、昨日宣仁親王例祭の霊舎祭・墓所祭終了につき挨拶を受けられる。○皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

二十三日 土曜日 立太子の礼執行につき、午後、皇太后宮女官長始め皇太后宮女官一同の拝賀を受けになる。ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従次長の拝賀をお受けになる。この日、皇太后宮職参事中村賢二郎を東宮仮御所に差し遣わされ、皇太子に御自作の絵画^{ハイビスカス・鮮鯛を昭和四十七年須崎御用邸にて描かれたもの}・生鯛等

平成三年二月

平成三年三月

を御贈進になる。また、天皇・皇后に鮮鯛代料・お品料を、清子内親王、文仁親王・同妃紀子に鮮鯛代料を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、贈賜録、宮内庁庁報、官報

二十四日 日曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后及び皇太子と御対面になり、昨日の立太子宣明の儀及び朝見の儀執行につき、御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

二十五日 月曜日 午前、吹上御所において、文仁親王・同妃紀子及び清子内親王と御対面になり、一昨日の立太子宣明の儀及び朝見の儀終了につき、御機嫌伺いをお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

三月

四日 月曜日 午後、吹上御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、来る六日よりデンマーク国・スウェーデン国を訪問につき挨拶を受けられる。以後、この年も皇太子始め皇族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

六日 水曜日 円融天皇千年式年祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

満八十八歳のお誕生日を迎えられる。

午後、宮殿花の間において、宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて皇太后宮大夫始め側近奉仕者の祝賀をお受けになる。ついで桐の間において天皇・皇后の祝賀をお受けになつ

た後、天皇・皇后と共に正殿梅の間において、皇太子始め皇族、元皇族・御縁故者の祝贺をお受けになる。その後、吹上御所において、皇太后宮職職員、元側近奉仕者等の祝贺をお受けになる。なお、皇太后が吹上御所に還御された後、連翠において、天皇御主催の御祝宴が行われる。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、皇太后、情報公開資料、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、一月に御風気があった以外はお元気でお過ごしであること、寒くなる前の昨年十二月初旬まではベランダを歩かれたり、日光浴をされていたことなどが発表される。また、二月に吹上御所内において撮影した皇太后のお写真が公表される。なお、宮内記者会より要望があった御車寄における皇太后への取材については、不可能である旨が回答される。○皇太后、情報公開資料、内廷皇族等誕生日綴

十六日 土曜日 午前、吹上御所において、この日文部省に出向のため退職の前皇太后宮職参事中村賢二郎の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報、官報

十八日 月曜日 午後、吹上御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、デンマーク国・スウェーデン国より帰国の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

二十一日 木曜日 春季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上御所において御遙拝される。○皇太后

宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

二十八日 木曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百}を賜う。○贈賜録^本

平成三年四月

四月

一日 月曜日 午前、吹上御所において、前任の皇太后宮侍医長高木顕、新任の皇太后宮侍医長加藤健三、新任の皇太后宮職参事斎藤誠治、新任の皇太后宮職御用掛田中直・小林忍・卜部亮吾の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、官報

三日 水曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

十日 水曜日 午後、吹上御所において、前皇太后宮職参事中村賢二郎、前侍従田中直・同小林忍・同卜部亮吾の拝謁をお受けになる。それぞれに賜品がある。終わって、中村ほかと御夕餐を共にされる。その際、皇太后宮大夫安楽定信より、八十八賀の祝詞言上をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、贈賜録、官報

十五日 月曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時二分御出門、二時二十三分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報

二十二日 月曜日 午後一時三十七分葉山御用邸を御出門、二時五十二分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報

二十三日 火曜日 午前、吹上御所において、去る十八日誕生日を迎えた清子内親王と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

五月

一日 水曜日 午前、吹上御所において、前任の皇太后宮職御用掛戸塚康男、新任の皇太后宮侍医永井良樹の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報、官報

十七日 金曜日 貞明皇后四十年式年祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。山陵の儀の御代拝は、皇太后宮職参事斎藤誠治に仰せ付けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

六月

五日 水曜日 午前九時五十六分御出門、武蔵野陵^{昭和天}に行啓される。陵前に御着になり、御拝礼になる。午後一時十分還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報

九日 日曜日 文仁親王妃紀子内着帯の儀につき、天皇・皇后、文仁親王・同妃に鮮鯛代料を御贈進になる。○吹上御所仕人日誌、情報公開資料、贈賜録

十日 月曜日 午後、皇居東御苑を車椅子にて御散策になり、ハナシヨウブを御覧になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

十七日 月曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時御出門、二時二十七分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報

二十五日 火曜日 午後一時三十分葉山御用邸を御出門、二時五十七分皇居に還啓される。○皇太后宮

平成三年七月・八月・九月

女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報

七月

三十日 火曜日 明治天皇例祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報

公開資料、宮内庁庁報

八月

十九日 月曜日 那須御用邸に行啓のため、午前九時三十九分御出門、午後零時二十八分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、幸啓録、宮内庁庁報

九月

三日 火曜日 午後一時二十分那須御用邸を御出門、四時七分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十日 火曜日 午前、吹上御所において、皇太子と御対面になり、翌十一日よりモロッコ国及び英国を訪問につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

十五日 日曜日 敬老の日につき、天皇・皇后より盛花の御贈進を受けられる。○吹上御所仕人日誌

二十三日 月曜日 秋季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后

宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

二十四日 火曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、来る二十六日よりタイ国・マレーシア国・インドネシア国を御訪問につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

二十五日 水曜日 午前、吹上御所において、皇太子と御対面になり、モロッコ国及び英国訪問より帰国の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

文仁親王妃紀子着帯の儀につき、天皇・皇后、文仁親王・同妃に鮮鯛代料を御贈進になる。○贈賜録
三十日 月曜日 平成三年度国民たすけあい共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励のため、金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

四日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園を車椅子にて御散策になり、ハギ・ススキ等を御覧になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

八日 火曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、去る六日タイ国・マレーシア国・インドネシア国御訪問より御帰国につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

十五日 火曜日 正午頃、吹上御所において、侍従職参与徳川義寛、元女官原田リツ・同市村菊重の拝謁をお受けになる。ついで一同と御昼餐を共にされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

平成三年十一月・十二月

二十日 日曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、皇后誕生日につき御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

二十一日 月曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園を車椅子にて御散策になり、ガマズミの実、ススキ等を御覧になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

二十二日 火曜日 午後、吹上御所において、この日結婚満五十年を迎えた崇仁親王・同妃百合子と御対面になり、お仕向けに対するお礼言上を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、贈賜録

二十四日 木曜日 文仁親王妃紀子昨二十三日第一王女出産につき、この日、天皇・皇后、文仁親王・同妃に鮮鯛代料を御贈進になる。この日誕生した内親王は、七夜に当たる二十九日に眞子と命名される。命名の儀当日に、天皇・皇后、文仁親王・同妃、眞子内親王に鮮鯛代料を御贈進になる。なお、文仁親王妃の入院・退院に際して、盛花を御贈進になる。○贈賜録、宮内庁庁報

十一月

二十六日 火曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時御出門、二時二十七分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報

十二月

四日 水曜日 午後一時三十分葉山御用邸を御出門、二時五十七分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌

誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、情報公開資料、幸啓録

十六日 月曜日 賢所御神楽につき、夕刻、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料

十九日 木曜日 午前、吹上御所において、島津貴子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌

二十三日 月曜日 正午、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、天皇誕生日の御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、宮内庁庁報

二十五日 水曜日 大正天皇例祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料

二十六日 木曜日 日本赤十字社に対し、事業の資として天皇・皇太后より金一封を賜う。○内賜録、恩賜録、宮内庁庁報

二十七日 金曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后、皇太子、文仁親王・同妃紀子及び初参殿の眞子内親王、並びに清子内親王と御対面になり、歳末の御挨拶をお受けになる。なお、眞子内親王初参殿につき、文仁親王・同妃に鮮鯛代料・お品料・縮緬を、眞子内親王に鮮鯛代料を御贈進になる。午後、正仁親王・同妃華子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所仕人日誌、贈賜録、宮内庁庁報

平成四年一月

平成四年（西暦一九九二年） 八十九歳

一月

一日 水曜日 御風気のため、新年の祝賀へのお出ましはなく、終日吹上御所において静かにお過ごしになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌

七日 火曜日 午前、吹上御所において故雍仁親王妃勢津子と、午後、同所において池田厚子と御対面になる。以後、この年も皇太子始め皇族・御親族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌

昭和天皇三年式年祭につき、同祭山陵の儀に皇太后御名代として正仁親王妃華子を差し遣わされる。

また、武蔵野陵^{昭和天皇陵}に菓子・榊をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、情報公開資料、贈賜録、宮内庁庁報

十日 金曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、新年の御機嫌伺いをお受けになる。以後、この年も概ね月二回程度、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料

十三日 月曜日 午前、吹上御所において、皇太子、文仁親王・同妃紀子、清子内親王と御対面にな

り、新年の御機嫌伺いをお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

十八日 土曜日 夕刻、吹上御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、新年の御機嫌伺いをお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌

三十日 木曜日 孝明天皇例祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

二月

三日 月曜日 宣仁親王五年式年祭につき、靈舎祭の儀及び墓所祭の儀に皇太后宮使として皇太后宮職参事斎藤誠治を差し遣わされ、御代拝を仰せ付けられる。また、靈舎に菓子・榊を、墓所に榊を、写真に切り花・果物をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、贈賜録

二十日 木曜日 この日眞子内親王箸初につき、同内親王に鮮鯛代料を御贈進になる。○贈賜録

二十三日 日曜日 午前、吹上御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

二十六日 水曜日 今般眞子内親王初節句に当たり、この日同内親王にお品料・万那料代料を御贈進になる。○贈賜録

平成四年三月

三月

六日 金曜日 満八十九歳のお誕生日を迎えられる。

午前、宮殿花の間において、宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて皇太后宮大夫始め側近奉仕者の祝賀をお受けになる。ついで桐の間において天皇・皇后の祝賀をお受けになった後、天皇・皇后と共に正殿梅の間において、皇太子始め皇族、元皇族・御親族の祝賀をお受けになる。その後、吹上御所において、皇太后宮職員、元側近奉仕者の祝賀をお受けになる。なお、皇太后が吹上御所に還御された後、連翠において、天皇御主催の御祝宴が行われる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、皇太后、情報公開資料、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、昨年末からこの年にかけて御風気のため寝込まれたが最近の御体調は良いこと、昭和天皇の写真への毎朝の御拝礼を日課にされていること、侍医や女官の介添えによって吹上御所内を毎日二十分間程度歩く御運動をされていること、晴天の日には車椅子にて吹上御苑内を御散策になること、来る九日より十九日まで須崎御用邸において御静養になることなどが発表される。○皇太后、朝日新聞、産経新聞、日本経済新聞、読売新聞

九日 月曜日 須崎御用邸に行啓のため、午後零時四十分御出門、四時十七分同邸に御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報

十九日 木曜日 午後零時五十六分須崎御用邸を御出門、四時三十四分皇居に還啓される。○皇太后宮

女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報

二十三日 月曜日 午前、吹上御所において、清子内親王と御対面になり、学習院大学卒業の挨拶を

受けられる。去る二十日、天皇・皇后に鮮鯛代料を、清子内親王に万那代料・お品料を御贈進になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、贈賜録

四月

三日 金曜日 午後、皇居東御苑を車椅子にて御散策になり、サクラ、キブシなどの花を御覧になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌

四日 土曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百本}を賜う。○贈賜録

十八日 土曜日 午前、吹上御所において、この日誕生日を迎えた清子内親王と御対面になる。○皇太

后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

二十七日 月曜日 午後、皇居東御苑を車椅子にて御散策になり、フジ、シヤガなどの花を御覧になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

五月

三日 日曜日 後白河天皇八百年式年祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

七日 木曜日 午前十時三十四分御出門、武蔵野陵に行啓される。陵前の御拝座に御到着後、御拝礼になる。午後一時四十八分還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、贈賜録、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

平成四年五月

十一日 月曜日 この日竹田恒徳死去につき、皇太后宮使として皇太后宮職参事斎藤誠治を竹田邸に差し遣わされ、弔問させられる。また、霊前に盛花をお供えになる。

竹田恒徳は、明治四十二年に恒久王の第一王子として誕生、母は明治天皇の第六皇女昌子内親王である。大正八年に竹田宮当主となり、昭和九年に公爵三条公輝の息女光子と結婚する。昭和二十二年十月皇族の身分を離れ、竹田姓を名乗る。その後、国際オリンピック委員会委員などを歴任する。享年八十三。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、贈賜録、墓誌銘録、斎藤誠治業務日誌

十四日 木曜日 夜、吹上御所において、今般勲三等旭日中綬章を受章の皇太后宮職御用掛田中直の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

十五日 金曜日 故竹田恒徳正寝移柩の儀につき、皇太后宮使^{樞前使}として皇太后宮職参事斎藤誠治を護

国寺桂昌殿に差し遣わされる。また、霊前に菓子・果物・櫛をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后

宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、贈賜録、斎藤誠治業務日誌

十六日 土曜日 故竹田恒徳本葬祭につき、皇太后宮使^{葬場使}として皇太后宮職参事斎藤誠治を護国寺桂

昌殿に差し遣わされ、霊前に玉串をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報

公開資料、贈賜録、斎藤誠治業務日誌

二十六日 火曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後零時三十分御出門、一時五十七分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、幸啓録、情報公開資料、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十八日 木曜日 この日より三十一日まで日本橋高島屋において平成四年度日本ばら会春季展示会開催につき、バラ十五種二十五本を出品される。○情報公開資料

六月

七日 日曜日 昭和天皇月命日につき、葉山御用邸において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌

八日 月曜日 午後一時三十分葉山御用邸を御出門、二時五十七分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌

誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

十二日 金曜日 夕刻、正仁親王・同妃華子と共に皇居東御苑にお出ましになる。車椅子にて御散策になり、満開のハナショウブを御覧になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、齋藤誠治業務日誌

七月

十七日 金曜日 午前、吹上御所において、皇太子と御対面になり、翌十八日よりスペイン国・ベネズエラ国・メキシコ国訪問の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁

庁報、齋藤誠治業務日誌

三十日 木曜日 明治天皇例祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報

公開資料、宮内庁庁報

八月

十九日 水曜日 那須御用邸に行啓のため、午後一時三十一分御出門、四時三十分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

九月

一日 火曜日 関東大震災記念日につき、御散策をお控えになる。○皇太后宮お日誌

四日 金曜日 午後一時十五分那須御用邸を御出門、四時六分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十一日 金曜日 午前、吹上御所において、文仁親王・同妃紀子と御対面になり、親王より来る十三日からタイ国旅行につき、また親王妃よりこの日誕生日につき、それぞれ挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十三日 水曜日 秋季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后

宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報

二十四日 木曜日 今般常陸宮那須別邸落成につき、正仁親王・同妃華子にお品料・万那代料を御贈進になる。○贈賜録

三十日 水曜日 平成四年度国民たすけあい共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励のため金一封を賜う。○内賜録、情報公開資料、宮内庁庁報

十月

十七日 土曜日 神嘗祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料、

宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十日 火曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、この日誕生日を迎えた皇后

の御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

二十九日 木曜日 午後、吹上御所において、文仁親王・同妃紀子と御対面になり、十一月五日よりスリランカ国・パキスタン国・インド国・タイ国訪問につき挨拶を受けられる。後刻、参殿の清子内親王と御対面になり、十一月五日よりオーストラリア国・ニュージーランド国を旅行につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

十一月

二日 月曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、中華人民共和国御訪問十月二十三日から二十八日までより御帰国の御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

十七日 火曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時三十一分御出門、二時五十二分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

十二月

一日 火曜日 午後一時三十分葉山御用邸を御出門、二時四十九分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

二日 水曜日 午後、吹上御所において、今般皇太后宮大夫安楽定信の病氣療養に伴い、皇太后宮大

平成四年十二月

夫事務取扱に就任した宮尾盤宮内庁次長の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、

情報公開資料、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

四日 金曜日 雍仁親王四十年式年祭につき、皇太后宮使として皇太后宮職参事斎藤誠治を霊舎祭の儀及び墓所祭の儀に差し遣わされ、御代拝を仰せ付けられる。また、霊舎に菓子・榊を、墓所に榊を、写真に切り花・果物をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、贈賜録、情報公開資料、

宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

八日 火曜日 午後、吹上御所において、清子内親王と御対面になり、去る十一月二十一日オーストラリア国・ニュージーランド国旅行から帰国の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十四日 月曜日 崇峻天皇千四百年式年祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十五日 火曜日 賢所御神楽につき、夕刻、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十六日 水曜日 午前、吹上御所において、島津貴子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌

二十三日 水曜日 午前、吹上御所において、側近奉仕者より天皇誕生日の祝賀をお受けになる。正午、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、天皇誕生日の御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

午前、吹上御所において、先般英国より帰国の東作興・同夫人優子^{御孫}の拝謁をお受けになる。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

二十八日 月曜日 午前、吹上御所において、文仁親王・同妃紀子、眞子内親王と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。折柄歳末の御挨拶のために御参殿の天皇・皇后、皇太子・清子内親王と一緒に御対面になる。午後、正仁親王・同妃華子、故宣仁親王妃喜久子、崇仁親王・同妃百合子、憲仁親王・同妃久子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

平成五年（西暦一九九三年）

九十歳

一月

一日 金曜日 新年につき、吹上御所において、午前、側近奉仕者、皇太后宮職職員、宮内庁長官始め総代の祝賀をお受けになる。午後、元側近奉仕者の祝賀を、続いて正仁親王・同妃華子、崇仁親王・同妃百合子、寛仁親王・同妃信子、憲仁親王・同妃久子の祝賀を、ついで天皇・皇后、皇太子、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王、清子内親王の祝賀を順次お受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

平成五年一月

平成五年二月

七日 木曜日 昭和天皇祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。ついで同所において、文

仁親王・同妃紀子、清子内親王、続いて東久邇真彦^{御孫}・同夫人賀鶴子、高木文子^{御孫}、東優子^{御孫}と御対面

になる。その後、側近奉仕者及び元側近奉仕者の拝謁を受けられる。午後には、参殿の正仁親王・同妃華子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

八日 金曜日 午後、吹上御所において、池田厚子と御対面になる。以後、皇太子始め皇族・御親族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

十九日 火曜日 午前、吹上御所において、皇太后宮女官長北白川祥子、及び皇太后宮職参事斎藤誠治の拝謁を受けられ、この日皇室会議において小和田雅子を皇太子妃とすることが決定した旨の報告をお聞きになる。よって、お慶びとして天皇・皇后、皇太子に鮮鯛代料を御贈進になる。午後、吹上御所において、皇太子と御対面になり、婚約決定の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、贈賜録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十二日 金曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になる。以後、この年も概ね月に二回程度、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌
三十日 土曜日 孝明天皇例祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二月

六日 土曜日 正親町天皇四百年式年祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官

日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十三日 火曜日 午前、吹上御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

三月

三日 水曜日 午前、吹上御所において、新任の皇太后宮侍医内西兼一郎、前任の皇太后宮侍医永井良樹の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

五日 金曜日 満九十歳のお誕生日を迎えられるに当たり、平時救護事業御奨励のため、昭憲皇太后基金に加えるよう、日本赤十字社を通じて在ジュネーブ昭憲皇太后基金管理合同委員会に金一封を賜う。○皇太后宮お日誌、内賜録、贈賜録、情報公開資料、宮内庁庁報

六日 土曜日 満九十歳のお誕生日を迎えられる。

午前、宮殿花の間において、宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて皇太后宮大夫事務取扱始め側近奉仕者の祝賀をお受けになる。ついで桐の間において天皇・皇后より御祝詞の言上をお受けになった後、天皇・皇后と共に正殿梅の間において、皇太子始め皇族、元皇族・御縁故者の祝賀をお受けになる。その後、吹上御所において、皇太后宮職職員、元側近奉仕者等の祝賀をお受けになる。なお、皇太后が吹上御所に還御された後、連翠において、天皇御主催の御祝宴が行われ、皇太子始め皇族、元皇族の代表、御縁故者の一部が出席する。九十歳のお祝いとして、天皇・皇后そ

平成五年四月

れぞれより鮮鯛代料の御贈進があり、皇太子始め皇族・元皇族・御縁故者からもそれぞれ鮮鯛代料等の御贈進がある。また、天皇・皇后、及び皇太后のお子様方よりお祝いの品を贈られる。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、皇太后、内廷皇族等誕生日綴、贈賜録、情報公開資料、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌
お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、午前七時にお目覚めの後、昭和天皇の写真に御拝礼になること、午後九時にお休みになること、昨夏に軽い御風気があった後は非常に健康であり、温暖な時に御運動のため室内の廊下やベランダを軽く歩かれ、季節の良い時は御内庭を約三十分間御散策になること、一週間に二回御参殿の天皇・皇后と、また月二回参殿の正仁親王・同妃とお過ごしになることなどが発表される。○皇太后、内廷皇族等誕生日綴、情報公開資料

十日 水曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時三十分御出門、二時五十分同邸に御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

二十日 土曜日 春季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、葉山御用邸において御遙拝になる。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮お日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

三十日 火曜日 午後一時二十九分葉山御用邸を御出門、二時五十分皇居に還啓される。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百}を賜う。○贈賜録^本

四月

三日 土曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮

お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

十二日 月曜日 午前、皇太后宮女官長北白川祥子及び皇太后宮職参事齋藤誠治より、この日皇太子と小和田雅子が皇太子結婚式中納采の儀を執り行った旨の言上をお聞きになる。ついで、御参殿の天皇・皇后及び皇太子と御対面になり、皇太子より納采の儀終了の報告とお礼の挨拶をお受けになる。なお、天皇・皇后、皇太子に鮮鯛代料を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、贈賜録、情報公開資料、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

十八日 日曜日 午前、吹上御所において、この日誕生日を迎えた清子内親王と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌

二十三日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園を車椅子にて御散策になり、ツツジ等を御覧になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、齋藤誠治業務日誌

二十七日 火曜日 吹上御所において、皇太后宮大夫事務取扱宮尾盤^{宮内庁次長}、皇太后宮職参事齋藤誠治

以下十八名と御夕餐を共にされる。御夕餐に先立ち、宮尾より九十歳の祝詞言上をお受けになる。○

皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、贈賜録、齋藤誠治業務日誌

二十八日 水曜日 午後、吹上御所において、皇太子及び小和田雅子と御対面になり、皇太子結婚式中告期の儀終了につき挨拶を受けられる。また、小和田雅子にお祝いの品を賜う。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

平成五年五月・六月

五月

六日 木曜日 去る三日以来御風気により御仮床に就かれていますため、翌日予定の武蔵野陵^{昭和天皇}への行啓を延期される。八日御床払いになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、斎藤誠治業務日誌

九日 日曜日 母の日につき、天皇・皇后より盛花の御贈進を受けられる。○吹上御所殿部日誌

二十一日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、苑内を車椅子にて御散策になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

六月

九日 水曜日 吹上御所において、午前、皇太后宮大夫事務取扱宮尾盤の拝謁を受けられ、この日皇太子と小和田雅子の結婚につき、賢所大前の儀が行われた旨の報告をお聞きになる。午後、皇太后宮大夫事務取扱以下皇太后宮職員一同より祝賀を受けられる。ついで参殿の皇太子・同妃と御対面になり、結婚の挨拶を受けられる。よって皇太子・同妃それぞれにお祝いの品及び万那料等を、皇太子・同妃に生鯛を御贈進になる。また、天皇・皇后、文仁親王・同妃紀子、清子内親王に鮮鯛代料を御贈進になる。夕刻、宮内庁長官藤森昭一・侍従長山本悟の祝賀を受けられる。なお、故宣仁親王妃喜久子、崇仁親王・同妃百合子、寛仁親王・同妃信子、憲仁親王・同妃久子、近衛忠煇・同夫人甯子、千政之・同夫人容子が参殿し、女官長にお祝いを申し置く。翌日、宮殿において内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・最高裁判所長官、御縁故の向きが皇太后への記帳を行う。○皇太后宮女官日誌、皇太后

宮お日誌、吹上御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

十日 木曜日 午前、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、昨日の皇太子結婚につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、齋藤誠治業務日誌

三十日 水曜日 午前、吹上御所において、皇太子・同妃と御対面になり、神宮及び神武天皇陵・武蔵野陵への結婚奉告終了の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

吹上御所において、本日付で皇太后宮大夫事務取扱を退任の宮尾盤の拝謁をお受けになる。なお、病氣療養中の皇太后宮大夫安樂定信も、本日付をもって退職する。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、贈賜録、宮内庁庁報、官報、齋藤誠治業務日誌

七月

一日 木曜日 午後、吹上御所において、新任の皇太后宮大夫井関英男の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報、齋藤誠治業務日誌

十六日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、車椅子にて御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、齋藤誠治業務日誌

三十日 金曜日 明治天皇例祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

平成五年八月・九月

八月

十六日 月曜日 午後、吹上御所において、天皇・皇后と御対面になり、翌月より御訪欧イタリア・ベルギー・ドイツ各国へ御出発の御挨拶をお受けになり、併せて来る十八日より那須行啓につき御機嫌伺いを受けられる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十七日 火曜日 正午過ぎ、吹上御所において、清子内親王と御対面になり、八月末より訪欧スペイン・ベルギー各国につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十八日 水曜日 那須御用邸に行啓のため、午後一時三十九分御出門、四時三十分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

九月

八日 水曜日 午後一時十二分那須御用邸を御出門、四時八分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十五日 水曜日 敬老の日につき、天皇・皇后より花束の御贈進を受けられる。○吹上御所殿部日誌

十六日 木曜日 午後、吹上御所において、清子内親王と御対面になり、欧州より帰国の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十九日 日曜日 午後、吹上御所において、この日欧州三箇国御訪問より御帰国の天皇・皇后と御対面になり、御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十三日 木曜日 秋季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后
宮女官日誌、皇太后宮お日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

三十日 木曜日 平成五年度国民たすけあい共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会
に、事業御奨励のため、金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報、官報

十月

二日 土曜日 皇大神宮式年遷宮の儀につき、夜、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、
皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

五日 火曜日 豊受大神宮式年遷宮の儀につき、夜、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日
誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報

七日 木曜日 午前十時三十一分御出門、武蔵野陵に行啓され、御拝礼になる。午後一時五十四分吹
上御所に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、贈賜録、幸啓録、宮内庁庁
報、斎藤誠治業務日誌

十七日 日曜日 神嘗祭につき、午前、吹上御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、情報公開資料、
宮内庁庁報

二十日 水曜日 午後、吹上御所において、天皇と御対面になり、皇后誕生日の御挨拶をお受けにな
る。皇后は、御体調不良により御参殿をお取りやめになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部
日誌、内廷皇族等誕生日綴、情報公開資料、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

平成五年十一月・十二月

二十二日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、車椅子にて御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

十一月

五日 金曜日 午後、吹上御所において、この日勲二等旭日重光章を受章の前皇太后宮大夫安楽定信の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、贈賜録、官報

十六日 火曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時三十一分御出発、二時五十一分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十二月

二日 木曜日 午後一時三十分葉山御用邸を御出門、午後二時五十一分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

八日 水曜日 この日、天皇・皇后及び清子内親王が、赤坂御所より皇居吹上御苑内に新築の御所に御移居になる。これに伴い、この日以降、皇太后の御在所の吹上御所は「吹上^{ふきあげ}太宮御所^{おみやごしよ}」と称される。なお、天皇・皇后並びに清子内親王にお品料・鮮鯛代料を御贈進になる。○皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、贈賜録、情報公開資料、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

九日 木曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子妃と御対面になり、挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

務日誌

十二日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、去る八日皇居内の新御所に御移居につき挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、齋藤誠治業務日誌

十五日 水曜日 賢所御神楽につき、夕刻、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、情報公開資料、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

二十三日 木曜日 午前、吹上大宮御所において、天皇誕生日につき参殿の高木文子・東優子の拝謁をお受けになる。ついで側近奉仕者の拝謁をお受けになり、代表の皇太后宮大夫井関英男より祝詞言上をお受けになる。正午、天皇・皇后と御対面になり、御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

二十七日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子、清子内親王と御対面になり、歳末の御挨拶をお受けになる。ついで正仁親王・同妃華子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

二十八日 火曜日 正午過ぎ、歳末につき、吹上大宮御所において、皇太后宮大夫始め側近奉仕者の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌

二十九日 水曜日 吹上大宮御所において、午前、宮内庁職員総代として参殿の管理部長杉原正純より歳末祝詞の言上をお受けになる。午後、島津貴子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上御所殿部日誌

平成六年一月

平成六年（西暦一九九四年）

九十一歳

一月

一日 土曜日 新年につき、吹上大宮御所において、午前、側近奉仕者、皇太后宮職職員、宮内庁長官始め総代の祝賀をお受けになる。午後、元側近奉仕者の祝賀を、ついで天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子及び眞子内親王、清子内親王の祝賀を順次お受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后

宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

七日 金曜日 昭和天皇五周年祭につき、午前、吹上大宮御所において、皇霊殿を御遙拝になる。

同祭山陵の儀には御名代として正仁親王妃華子を差し遣わされる。また武蔵野陵昭和天皇に菓子・榊をお

供えになる。祭典終了後、参殿の正仁親王、崇仁親王・同妃百合子と御対面になり、ついで元側近奉仕者の拝謁をお受けになる。正午過ぎ、武蔵野陵より帰還の正仁親王妃華子参殿につき、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

八日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后と御対面になる。以後、この年は概ね毎週土曜日又は日曜日に行われた定例の御参殿を始め、随時、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日

誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

吹上大宮御所において、池田厚子と御対面になる。以後、この年も皇太子始め皇族・御親族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

二月

二十三日 水曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十四日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、昭和天皇斂葬の日につき参殿の侍従長山本悟の拝謁を受けられる。○皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

三月

一日 火曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、元侍従次長永積寅彦、参与徳川義寛の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、斎藤誠治業務日誌

六日 日曜日 満九十一歳のお誕生日を迎えられる。

午前、宮殿花の間において、宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて皇太后宮大夫始め側近奉仕者の祝賀をお受けになる。ついで桐の間において天皇・皇后の祝賀をお受けになった後、正午過ぎ、天皇・皇后と共に正殿梅の間において、皇太子始め皇族、元皇族・御縁故者の祝賀をお受けになる。その後、吹上大宮御所において、皇太后宮職職員、元側近奉仕者等の祝賀をお受けになる。なお、皇太后が吹上大宮御所に還御された後、連翠において、天皇御主催の御祝宴が行われ

平成六年三月

る。また、お誕生日につき、八日、ルクセンブルク国大公・同妃より祝電が寄せられ、十一日、天皇より答電をお送りになる。以後、平成十二年まで、同国より祝電が寄せられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、皇太后、内廷皇族等誕生日綴、外交慶弔録、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、午前七時にお目覚めの後、昭和天皇の写真に御拝礼になること、一、二週間に一度の割合で御参殿の天皇・皇后と、また月二回程度参殿の正仁親王・同妃とお過ごしになること、昨年五月以降は御風気がなく、好天の日は車椅子にて吹上御苑を御散策になること、この年正月をもって第七十代後冷泉天皇の皇后寛子と同じ数え年九十二歳にいられたこと、お誕生日のお写真の提供については御高齢でもあり遠慮願いたいことなどが発表される。

○皇太后、内廷皇族等誕生日綴

八日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、翌日より葉山行啓につき御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

九日 水曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十二分御出門、三時五十一分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十九日 火曜日 午後一時三十分葉山御用邸を御出門、二時五十分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

四月

一日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の宮内庁次長鎌倉節及び前任の宮内庁次長宮尾盤、新任の東宮大夫森幸男及び前任の東宮大夫菅野弘夫の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

三日 日曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

七日 木曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百本}を賜う。○贈賜録

八日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、サクラなどを御覧になりながら車椅子にて御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

十八日 月曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた清子内親王と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

十九日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、文仁親王妃紀子と御対面になり、財団法人結核予防会総裁に就任の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

二十六日 火曜日 午前十時三十分吹上大宮御所を御出発、武蔵野陵に行啓される。御着後、御拝座において御拝礼になる。午後一時四十五分還啓される。同陵への行啓が最後となる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、贈賜録、幸啓録、斎藤誠治業務日誌

平成六年五月

五月

六日 金曜日 昨五日朝香孚彦死去につき、この日弔問使として皇太后宮職参事斎藤誠治をその邸に差し遣わされる。また、霊前に盛花をお供えになる。八日通夜につき、同参事を柩前使として麴町聖イグナチオ教会へ差し遣わされる。また、霊前に生花・果物等をお供えになる。九日、聖イグナチオ教会において葬儀執行につき、同参事を葬場使として差し遣わされる。六月七日納骨祭につき、墓所に生花をお供えになる。

朝香孚彦は、大正元年に鳩彦王御父邦彦王の弟、朝香宮の第一王子として誕生する。母は明治天皇第八皇女允子内親

王である。昭和十三年に伯爵藤堂高紹息女千賀子と結婚する。昭和二十二年十月に皇族の身分を離れ、朝香姓を名乗る。享年八十一。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、齋藤誠治業務日誌、贈賜録

八日 日曜日 母の日につき、皇后・清子内親王より花束の御贈進を受けられる。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

九日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、皇太后宮職御用掛ト部亮吾の拝謁を受けられる。ト部より勲三等旭日中綬章の拝受につきお礼言上を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所

殿部日誌、宮内庁庁報、官報、齋藤誠治業務日誌

十八日 水曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、三時五十分同邸に御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、齋藤誠治業務日誌

十九日 木曜日 この日より二十四日まで、日本橋高島屋において財団法人日本ばら会主催の「春の日本ばら会展」開催につき、吹上大宮御所前庭において御栽培のバラを御出品になる。○贈賜録

六月

三日 金曜日 午後一時二十八分葉山御用邸を御出門、二時四十四分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

九日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。天皇・皇后より翌日米国御訪問に御出発につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

二十八日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。天皇・皇后より、米国から一昨日御帰国につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

七月

二十二日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、皇太子・同妃と御対面になり、今般東宮仮御所より東宮御所へ移居の挨拶とお礼を受けられる。移居に当たり、皇太子・同妃に鮮鯛代料等を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

二十三日 土曜日 この日文仁親王妃紀子の内着帯につき、天皇・皇后及び文仁親王・同妃にそれぞれ鮮鯛代料を御贈進になる。○贈賜録

三十日 土曜日 明治天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

平成六年八月・九月

八月

十一日 木曜日 去る九日、元侍従次長永積寅彦死去につき、同日霊前に枕花をお供えになる。この日通夜につき、賜物使・柩前使として皇太后宮職参事斎藤誠治を築地本願寺第二伝道会館蓮華殿に差し遣わされる。なお、霊前に菓子・生花をお供えになる。○吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、斎藤誠治業務日誌

二十三日 火曜日 昨二十二日津軽義孝^{正仁親王妃華子の父}死去につき、霊前に盛花をお供えになる。二十四日、

賜物使・柩前使として皇太后宮職参事斎藤誠治を寛永寺輪王殿に差し遣わされる。また、霊前に菓子・生花・果物をお供えになり、夫人の津軽久子に祭資を賜う。なお、正仁親王は七日、同妃華子は九十日、それぞれ服喪する。○吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

三十日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、津軽義孝死去に伴う忌明けの挨拶のため参殿の正仁親王と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

九月

六日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、御参殿の天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、翌々日葉山御用邸に行啓につき御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

八日 木曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時三十分御出門、二時四十九分同邸に御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十七日 火曜日 午後一時三十分葉山御用邸を御出門、二時四十九分皇居に還啓される。○皇太后宮

女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

三十日 金曜日 平成六年度国民たすけあい共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励のため金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

一日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、天皇・皇后より、翌日からフランス国・スペイン国を御訪問につき御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

七日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、車椅子にて御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

十四日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、フランス国・スペイン国御訪問よりこの日御帰国の天皇・皇后と御対面になり、御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報、斎藤誠治業務日誌

十七日 月曜日 午前、神嘗祭につき、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌

二十日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、皇后誕生日につき御挨拶をお受けになる。還暦を迎えられた皇后に、お悦びとしてお品料を御贈進になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、贈賜録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十七日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、島津貴子と御対面になり、子息禎久結婚のお祝品

平成六年十一月

拝領につきお礼言上を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、斎藤誠治業務日誌

二十八日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、車椅子にて御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

十一月

七日 月曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、参与徳川義寛の拝謁を受けられる。この日八十八歳の誕生日を迎えた徳川に賜品がある。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌、贈賜録

十日 木曜日 去る四日賀陽章憲死去につき、この日霊前に菓子をお供えになる。

賀陽章憲は昭和四年に賀陽宮恒憲王の第三王子として誕生する。母は九条道実五女敏子である。昭和二十二年十月に皇族の身分を離れ、賀陽姓を名乗る。享年六十五。○贈賜録

十八日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、清子内親王と御対面になり、近くタイ国への旅行に出發の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十日 日曜日 文仁親王妃紀子の着帯につき、天皇・皇后、文仁親王・同妃に鮮鯛代料を御贈進になる。○贈賜録

二十一日 月曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時三十分御出門、二時五十分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十二月

六日 火曜日 午後一時三十分葉山御用邸を御出門、午後二時四十九分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

九日 金曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子妃と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十五日 木曜日 賢所御神楽につき、夕刻、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十三日 金曜日 正午、吹上大宮御所において、天皇・皇后と御対面になり、天皇誕生日の御挨拶をお受けになる。終わって、皇太后宮大夫始め側近奉仕者より祝賀をお受けになる。午後、同所において、池田厚子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十五日 日曜日 大正天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二十七日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子、清子内親王、正仁親王・同妃華子、故宣仁親王妃喜久子と御対面になり、歳末の御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十八日 水曜日 歳末につき、午後、吹上大宮御所において、皇太后宮大夫始め側近奉仕者の拝謁

平成七年一月

をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

二十九日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、宮内庁職員総代の宮務主管樋口英昭より歳末祝詞の言上をお受けになる。その後、参殿の島津貴子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、吹上大宮御所殿部日誌
文仁親王妃紀子第二王女出産につき、この日、天皇・皇后、文仁親王・同妃に鮮鯛代料を御贈進になる。この日誕生した内親王は、七夜に当たる翌年一月四日に佳子と命名される。命名の儀当日に、天皇・皇后、文仁親王・同妃紀子、佳子内親王に鮮鯛代料を御贈進になる。また、文仁親王妃入院・退院に際して、盛花を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、官報

平成七年（西暦一九九五年）

九十二歳

一月

一日 日曜日 新年につき、吹上大宮御所において、午前、側近奉仕者、皇太后宮職職員の祝賀をお受けになる。午後、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・眞子内親王、清子内親王の祝賀を、ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

七日 土曜日 昭和天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌

后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

十日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。以後、この年も概ね毎週土曜日又は日曜日に行われた定例の御参殿を始め、随時、天皇・皇后と御対面になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十一日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になる。以後、この年も皇太子・同妃始め皇族・御親族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

二十九日 日曜日 御風気のため、終日御静養になる。午後、皇后及び清子内親王よりお見舞いの花束の御贈進をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、斎藤誠治業務日誌

二月

四日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、文仁親王及び出産後初参殿の同妃紀子と御対面になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

二十三日 木曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十四日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、昭和天皇斂葬の日につき参殿の侍従長山本悟の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

二十八日 火曜日 翌月佳子内親王初節句につき、この日、同内親王に万那代料・お品料を御贈進に

平成七年三月

なる。○贈賜録

三月

六日 月曜日 満九十二歳のお誕生日を迎えられる。

昨日来の御発熱のため、宮殿における祝賀行事は全てお取りやめとなり、午前、皇太后宮大夫始め側近奉仕者の祝賀のみをお受けになる。この日、皇后・清子内親王よりお見舞いの花が届けられる。十四日、御床払いになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、皇太后、内廷皇族等誕生日綴、宮

内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、午前七時にお目覚めの後、昭和天皇の写真に御拝礼になること、好天の日は車椅子にて吹上御苑を御散策になること、毎週土曜日又は日曜日に御参殿の天皇・皇后及び清子内親王と、また二週間に一度参殿の正仁親王・同妃とお過ごしになると、去る一月に軽い御風気があったもののそれ以外は御健康であること、週一回の侍医の拝診、及び年一回の宮内庁病院における定期検診をお受けになり、体重の変化はなく食欲も旺盛であること、お誕生日の行事は基本的に昨年と同様であるが、天皇・皇后御主催の御祝宴は阪神・淡路大震災の影響で自粛されること、数え年九十二歳にて崩御した第七十代後冷泉天皇の皇后寛子と比較すると、この年一月で数え年九十三歳となられたため、皇后の身位にあった方としては最高齢とされることなどが発表される。○皇太后、内廷皇族等誕生日綴

九日 木曜日 この日葉山御用邸に行啓予定のところ、御発熱のため、お取りやめになる。○皇太后宮

女官日誌、皇太后宮お日誌、斎藤誠治業務日誌

二十一日 火曜日 春季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○

皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

二十四日 金曜日 昨日賀陽敏子死去につき、この日弔問使として皇太后宮職参事斎藤誠治をその邸に差し遣わされる。また、霊前に盛花・榊・菓子・玉串をお供えになる。

賀陽敏子は、明治三十六年に公爵九条道実の第五女子として誕生する。母は恵子。大正十年に賀陽宮恒憲王の妃となる。昭和二十二年十月皇族の身分を離れ、賀陽姓を名乗る。享年九十一。○皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、故賀陽敏子墓誌、斎藤誠治業務日誌

二十九日 水曜日 豊岡墓地において賀陽敏子葬儀執行につき、皇太后宮使^{葬場使}として皇太后宮職参事斎藤誠治を差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、斎藤誠治業務日誌

四月

三日 月曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

午後、吹上大宮御所において、前任の皇太后宮職参事斎藤誠治、新任の皇太后宮職参事平田英勝、前任の侍従次長重田保夫、新任の侍従次長八木貞二の拝謁を順次お受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌、官報

六日 木曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百本}を賜う。○贈賜録

十八日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた清子内親王と御対面になり、挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

二十日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、文仁親王・同妃紀子及び初参殿の佳子内親王と御対面になり、挨拶をお受けになる。佳子内親王初参殿につき、文仁親王・同妃に鮮鯛代料・お品料を、佳子内親王に鮮鯛代料を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

二十四日 月曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、車椅子にて御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

二十六日 水曜日 この日佳子内親王箸初につき、同内親王に鮮鯛代料を御贈進になる。○贈賜録

二十七日 木曜日 夕刻、吹上大宮御所において、前皇太后宮職参事斎藤誠治の拝謁をお受けになる。終わって、斎藤と御夕食を共にされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、斎藤誠治業務日誌

日誌

五月

二十三日 火曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時二十九分御出門、二時五十分同邸に到着される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報、斎藤誠治業務日誌

六月

八日 木曜日 午後一時二十九分葉山御用邸を御出門、二時四十八分皇居に還啓される。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十二日 月曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、車椅子にて御散策になる。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

七月

十四日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、島津貴子及び結婚後初参殿の島津禎久・同夫人マリー

と御対面になり、挨拶を受けられる。禎久に対し、お祝いの品を賜う。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、

吹上大宮御所殿部日誌

三十日 日曜日 明治天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、

宮内庁庁報

八月

二十五日 金曜日 この日宮内庁病院において故雍仁親王妃勢津子が薨去する。よって五日間服喪さ

れる。午前、皇太后宮女官長北白川祥子より親王妃薨去の言上をお受けになり、正午過ぎ、皇太后宮
大夫井関英男、皇太后宮女官長始め女官より、順次お悔やみの言上をお受けになる。また、弔問使と
して皇太后宮女官長を秩父宮邸に差し遣わされ、枕花をお供えになる。翌二十六日以降、霊前に種々
お供えになり、二十九日正寝移柩の儀に当たっては、霊前に榊・菓子・盛花をお供えになる。

故雍仁親王妃勢津子は、明治四十二年に松平恒雄の第一女子として誕生、母は信子である。昭和三年

平成七年九月

に雍仁親王の妃となる。財団法人結核予防会・財団法人交通遺児育英会・日本赤十字社等の総裁・名誉総裁等を務める。享年八十五。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

二十六日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、故雍仁親王妃勢津子薨去につき御機嫌伺いをお受けになる。この日、御機嫌伺いのため、皇太子・同妃、

文仁親王・同妃紀子、正仁親王・同妃華子、崇仁親王^{喪主}・同妃百合子、寛仁親王・同妃信子、憲仁親

王・同妃久子が参殿し、皇太后宮大夫にお悔やみを申し置く。二十八日には、故宣仁親王妃喜久子が参殿し、皇太后宮女官長にお悔やみを申し置く。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三十日 水曜日 御喪明けとなる。故雍仁親王妃勢津子薨去につき、午後、賜物使として皇太后宮職参事平田英勝を秩父宮邸に差し遣わされる。ついで霊代安置の儀につき、柩前使として同参事を同邸に差し遣わされ、拝礼させられる。また、霊前に菓子をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

三十一日 木曜日 故雍仁親王妃勢津子斂葬当日柩前祭の儀につき、午前、皇太后宮使として皇太后宮職参事平田英勝を秩父宮邸に差し遣わされ、拝礼させられる。ついで斂葬当日葬場の儀につき、皇太后宮使として皇太后宮大夫井関英男を豊島岡墓地に差し遣わされ、拝礼させられる。また、霊前に柿・菓子・果物をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

九月

六日 水曜日 故大勲位元内閣総理大臣福田赳夫の内閣・自由民主党合同葬儀執行につき、午後、皇

太后御使として皇太后宮職参事平田英勝を日本武道館に差し遣わされる。なお、同人の死去に際しては、靈前に枕花・生花を賜う。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

この日、故雍仁親王妃勢津子墓所の初御代拝のため、皇太后御使として皇太后宮女官長北白川祥子を差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

二十三日 土曜日 秋季皇靈祭及び同神殿祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○

皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二十九日 金曜日 平成七年度国民たすけあい共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励のため金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

二日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、今般退職の前皇太后宮女官久保喜美子の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

四日 水曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後一時三十分御出門、二時五十分同邸に御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十日 火曜日 午後、御機嫌伺いに参邸の前皇太后宮職参事斎藤誠治の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌

十三日 金曜日 故雍仁親王妃勢津子五十日祭につき、葉山御用邸において御遙拝になる。また、皇太后宮使として皇太后宮職参事平田英勝を権舎及び墓所に差し遣わされる。さらに、権舎に榊・菓子

平成七年十一月・十二月

を、墓所に櫛をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

十七日 火曜日 午前、神嘗祭につき、葉山御用邸において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌

十九日 木曜日 午後一時二十九分葉山御用邸を御出門、二時四十八分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

二十日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、皇后誕生日につき御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

二十三日 月曜日 午前、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮職御用掛加勢美恵の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十一月

四日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、清子内親王と御対面になり、来る六日よりブラジル国訪問につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、前皇太后宮女官久保喜美子の拝謁をお受けになる。終わって、久保と御夕餐を共にされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

十二月

一日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮女官加勢美恵十一月三十日に皇太后宮職御用掛を免ぜられるの拝謁を

受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

二日 土曜日 この日、故雍仁親王妃勢津子百日祭の儀につき、皇太后宮使として皇太后宮職参事平田英勝を権舎及び墓所に差し遣わされる。また、権舎に榊・菓子をも、墓所に榊・果物をお供えになる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

九日 土曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子妃と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

十一日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、御機嫌伺いに参殿の元侍従杉原正純^{管理部長}・樋口英昭

^{宮務}主管・角田素文^{皇室経}・斎藤誠治^{式部官}の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十五日 金曜日 賢所御神楽につき、夕刻、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、宮内庁庁報

二十三日 土曜日 正午、吹上大宮御所において、天皇・皇后と御対面になり、天皇誕生日の御挨拶をお受けになる。終わって、皇太后宮大夫始め側近奉仕者より祝賀をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十五日 月曜日 大正天皇例祭につき、午後、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、

宮内庁庁報

二十七日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、正仁親王・同妃華子、故宣仁親王妃喜久子、崇仁親王・同妃百合子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。ついで御参殿の天皇・皇后、皇太子・

平成八年一月

同妃、清子内親王と御対面になり、歳末の御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上

大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十八日 木曜日 歳末につき、午後、皇太后宮大夫始め側近奉仕者の拝謁をお受けになる。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

平成八年（西暦一九九六年） 九十三歳

一月

一日 月曜日 新年につき、吹上大宮御所において、午前、側近奉仕者、皇太后宮職職員の祝賀を受けられる。午後、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子及び眞子内親王、清子内親王の祝賀を、ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太

后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

七日 日曜日 昭和天皇祭につき、午後、吹上大宮御所において、写真を御拝礼になる。ついで皇太后宮女官長始め皇太后宮女官一同より御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大

宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十五日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。以後、

この年も概ね毎週土曜日又は日曜日に行われた定例の御参殿を始め、随時、天皇・皇后と御対面になる。
○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

二十二日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、今般退官の前宮内庁長官藤森昭一、新任の宮内庁長官鎌倉節、並びに新任の宮内庁次長森幸男、東宮大夫古川清の拝謁を受けられる。
○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

二十五日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、島津貴子と御対面になる。以後、皇太子・同妃始め皇族・御親族と随時、御対面になる。
○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三十日 火曜日 孝明天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。
○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二月

五日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮職御用掛森岡恭三郎の拝謁を受けられる。
○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

七日 水曜日 故元侍従長徳川義寛^{去る二日死去}の葬儀執行につき、葬場使として皇太后宮職参事平田英勝を護国寺桂昌殿に差し遣わされる。

徳川義寛は、昭和十一年侍従となり、昭和四十四年に侍従次長、昭和六十年より六十三年まで侍従長を務める。
○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十三日 金曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になり、挨拶

平成八年三月

掬を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十四日 土曜日 午後、昭和天皇斂葬の日につき参殿の侍従長山本悟の拝謁をお受けになり、御機嫌伺いを受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三月

一日 金曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、皇太后宮大夫井関英男の拝謁を受けられ、本日付にて参与に藤森昭一<sup>前宮内、
庁長官</sup>、東宮侍従<sup>東宮職事
務主管</sup>に鈴木武が任命された旨の報告を受けられる。○皇太后宮女官

日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

六日 水曜日 満九十三歳のお誕生日を迎えられる。

午前、宮殿花の間において、宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて皇太后宮大夫始め側近奉仕者の祝賀をお受けになる。ついで桐の間において天皇・皇后の祝賀をお受けになった後、天皇・皇后と共に正殿梅の間において、皇太子・同妃始め皇族、元皇族・御縁故者の祝賀をお受けになる。その後、吹上大宮御所において、皇太后宮職職員、元側近奉仕者等の祝賀をお受けになる。なお、皇太后が吹上大宮御所に還御された後、連翠において、天皇御主催の御祝宴が行われる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、皇太后、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、去る一月に御風気があったものの大事に至らず、現在は安定してお変わりのない御日常をお過ごしになっていること、好天の日には車椅子にてお庭を御散策になること、毎週土曜日又は日曜日に御参殿の天皇・皇后及び清子内親王と、また隔週

の割合で参殿の正仁親王・同妃とお過ごしになることなどが発表される。○皇太后、内廷皇族等誕生日綴

二十日 水曜日 春季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太

后宮女官日誌、宮内庁庁報

四月

一日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、前任の皇太后宮侍医内西兼一郎、新任の皇太后宮侍医

長瀬隆英の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

三日 水曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太

后宮お日誌、宮内庁庁報

四日 木曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百本}を賜う。○贈賜録

十一日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、文仁親王・同妃紀子及び眞子内親王と御対面になり、眞子内親王の学習院幼稚園入園につき挨拶を受けられる。幼稚園入園につき、内親王に万那代料を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

十八日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた清子内親王と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

二十二日 月曜日 昨年十二月、昭和天皇の御著書『相模湾産ヒドロ虫類Ⅱ 有鞘類』の刊行に当たり尽力した北海道大学名誉教授山田真弓・元生物学御研究所専門官清水達哉・同嘱託駄場博子に対して、この日、花蔭亭において賜餐がある。皇太后のお出ましはなく、皇太后宮大夫・同女官長が出席

平成八年五月

する。また、皇太后より山田以下三名及び故侍従職参与徳川義寛の霊前に賜品がある。なお、同書はこの月八日より九日にかけて武蔵野陵^{昭和天皇}に埋納され、十日には昭和天皇御著書埋納工事竣工奉告祭が勅使^{掌典}参向のもとに実施される。○皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、相模湾産ヒドロ虫類Ⅱ有鞘類

五月

九日 木曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、三時五十分同邸に御到着になる。なお、去る五月二日、皇太后宮大夫より宮内記者会に対し、従来葉山行啓の往復の際、乾門にて報道写真の撮影取材に応じるため御料車のカーテンを開けていたが、皇太后の御年齢や御健康状態に鑑み、今回からカーテンを開けることを取りやめたい旨を申し入れる。同八日、その代替として前月に宮内庁嘱託カメラマンが撮影した皇太后のお写真等が宮内記者会に提供され、新聞・雑誌に掲載される。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、幸啓録、宮内庁庁報、毎日新聞、朝日新聞、日本経済新聞、神奈川新聞、週刊朝日、週刊文春

二十七日 月曜日 午後一時二十八分葉山御用邸を御出門、二時四十八分皇居に還啓される。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

二十九日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、赤坂御苑における園遊会から還幸啓の途次に御参殿の天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮

内庁庁報

六月

七日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園を車椅子にて御散策になり、ハナショウブを御覧になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

八月

二十三日 金曜日 午前、吹上大宮御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、来る二十八

日よりタイ国・ブルネイ国を訪問につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所

殿部日誌、宮内庁庁報

二十五日 日曜日 故雍仁親王妃勢津子一周年祭の儀につき、皇太后宮使として皇太后宮職参事平田

英勝を権舎並びに墓所に差し遣わされ、玉串をお供えになる。また、権舎に榊・果物・盛花を、墓所に榊・菓子をお供えになる。二十七日の霊代奉遷の儀に当たっては、霊前に果物をお供えになる。○

皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

九月

九日 月曜日 久邇^{御母}親子四十年祭執行につき、墓所の拝礼を皇太后宮女官長北白川祥子に仰せ付け

られる。また、墓所に榊を、霊舎に榊・菓子をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈

賜録

二十二日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、二十

平成八年十月

八日からブルガリア国及びチェコ国訪問に出発する清子内親王より挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十三日 月曜日 秋季皇霊祭及び同神殿祭につき、御昼餐前、吹上大宮御所において御遙拝になる。

○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二十五日 水曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、三時五十分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

三十日 月曜日 平成八年度国民たすけあい共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励のため金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

十日 木曜日 この日、眞子内親王着袴の儀につき、文仁親王・同妃紀子に五種交魚代料を、眞子内親王に鮮鯛代料を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、贈賜録、宮内庁庁報

十四日 月曜日 午後二時二十八分葉山御用邸を御出門、三時四十九分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十七日 木曜日 神嘗祭につき、正午過ぎ、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

午後、吹上大宮御所において、清子内親王と御対面になり、ブルガリア国及びチェコ国より帰国の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、皇后誕生日につき挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十二月

九日 月曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子妃と御対面になり、挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十六日 月曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮女官東久世百合子並びに前任の皇太后宮女官加勢美恵の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

二十日 金曜日 夕刻、吹上大宮御所において、島津貴子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

二十三日 月曜日 天皇誕生日につき、吹上大宮御所において、午前、皇太后宮女官長始め皇太后宮女官より祝賀をお受けになる。午後、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、天皇誕生日の御挨拶をお受けになる。なお、ペルー国リマ市における日本大使公邸人質事件のため、天皇誕生日の祝賀行事はお取りやめとなる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十四日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の侍従長渡辺允の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

二十五日 水曜日 大正天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌

平成九年一月

誌、宮内庁庁報

二十七日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、清子内親王、正仁親王・同妃華子、故宣仁親王妃喜久子、崇仁親王・同妃百合子と御対面になり、歳末の御挨拶をお受けになる。ついで側近奉仕者より歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

平成九年（西暦一九九七年） 九十四歳

一月

一日 水曜日 新年につき、吹上大宮御所において、午前、側近奉仕者、皇太后宮職員等の祝賀を受けられる。午後、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、清子内親王の祝賀を、ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

七日 火曜日 昭和天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。その後、同祭皇霊殿の儀の参列を終えた皇太后宮大夫以下の側近奉仕者並びに元側近奉仕者の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

九日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、池田厚子と御対面になる。以後、この年も皇太子・同妃始め皇族・御親族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十一日 土曜日 英照皇太后百年式年祭につき、御昼餐前、吹上大宮御所において御遙拝になる。同祭山陵の儀の御代拝を、皇太后宮職参事平田英勝に仰せ付けられる。また、墓所に菓子・榊をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、贈賜録、宮内庁庁報

十二日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。以後、この年も概ね毎週土曜日又は日曜日に行われた定例の御参殿を始め、随時、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三十日 木曜日 孝明天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二月

三日 月曜日 宣仁親王十年式年祭につき、皇太后宮使として皇太后宮職参事平田英勝を霊舎及び墓所に差し遣わされる。また、霊舎に菓子・榊を、墓所に榊を、写真に盛花・果物をお供えになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

二十三日 日曜日 午前、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十四日 月曜日 午後、昭和天皇斂葬の日につき参殿の元侍従長山本悟の拝謁を受けられる。○皇太

平成九年三月

后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三月

六日 木曜日 満九十四歳のお誕生日を迎えられる。

午前、宮殿花の間において、宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて皇太后宮大夫始め側近奉仕者の祝賀をお受けになる。ついで桐の間において天皇・皇后の祝賀をお受けになった後、天皇・皇后と共に正殿梅の間において、皇太子・同妃始め皇族、元皇族・御縁故者の祝賀をお受けになる。その後、吹上大宮御所において、皇太后宮職職員、元側近奉仕者の祝賀をお受けになる。

なお、皇太后が吹上大宮御所に還御された後、連翠において、天皇御主催の御祝宴が行われる。○皇太

后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、皇太后、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、昨年十二月に軽微の御風気があったものの、御日常の生活は昨年と変わらず、毎週土曜日又は日曜日に御参殿の天皇・皇后及び清子内親王と、また月二回程度平日に参殿の正仁親王・同妃とお過ごしになること、皇太子・同妃とは折々に御一緒に過ごされることなどが発表される。○皇太后、内廷皇族等誕生日綴

二十日 木曜日 春季皇霊祭及び同神殿祭につき、正午過ぎ、吹上大宮御所において御遙拝になる。

○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

三十一日 月曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、この日退職の皇太后宮侍医長瀬隆英の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

四月

一日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮侍医作田英成の拝謁を受けられる。○

皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

三日 木曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報

四日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園にお出ましになり、車椅子にて御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

八日 火曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百本}を賜う。○贈賜録

十日 木曜日 この日伏見和子^{伏見博明夫人}死去につき、弔問使として皇太后宮職参事平田英勝を差し遣わされる。また、霊前に盛花・菓子を賜う。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

十八日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた清子内親王と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

五月

三日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。その際、来る九日からフランス国を訪問する清子内親王の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

八日 木曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、四時七分同邸に御到着になる。○

平成九年六月

皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

二十六日 月曜日 午後二時三十分葉山御用邸を御出門、三時四十九分皇居に還啓される。○皇太后宮

女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

二十九日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。天皇・

皇后より翌三十日からブラジル国・アルゼンチン国御訪問の御挨拶を、清子内親王より去る十九日フランス国から帰国の挨拶をそれぞれ受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮

内庁庁報

六月

五日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、前皇太后宮侍医長瀬隆英・前皇太后宮女官加勢美恵の拝謁をお受けになる。終わって、両名と御夕食を共にされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮

御所殿部日誌

六日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園を車椅子にて御散策になり、ハナショウブを御覧になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十五日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。天皇・

皇后より去る十三日ブラジル国・アルゼンチン国から御帰国につき、御挨拶を受けられる。○皇太后宮

女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

七月

十二日 土曜日 この日皇后御退院につき、盛花を御贈進になる。ついで、二十九日には御快気のお喜びとして万那代料を御贈進になる。なお、皇后は去る三日から東京通信病院に病氣入院中であった。

○皇太后宮お日誌、贈賜録

三十日 水曜日 明治天皇例祭につき、正午過ぎ、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

九月

四日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、元侍従長山本悟の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十二日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、来る十七日よりチリ国及びグアテマラ国を訪問につき挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報
吹上大宮御所において、皇太子妃と御対面になり、第一期喪明けの挨拶を受けられる。同妃は去る二日小和田静皇太子妃の祖母死去により、三十日間第一期十日、第二期二十日服喪される。なお、同人の死去に際しては、皇太后より霊前に盛花を賜う。○皇太后宮お日誌、情報公開資料、贈賜録、宮内庁庁報

二十三日 火曜日 秋季皇霊祭及び同神殿祭につき、御昼餐前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

三十日 火曜日 平成九年度共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励の

平成九年十月・十一月

ため金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

十七日 金曜日 神嘗祭につき、吹上大宮御所において神宮・賢所を御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、

宮内庁庁報

二十日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。この日誕生日の皇后より御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十四日 金曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、三時五十分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十一月

十一日 火曜日 午後二時三十分葉山御用邸を御出門、三時五十三分皇居に還啓される。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十七日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮女官河合裕子、退任の皇太后宮女官小野慰子の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

十八日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮職御用掛小野慰子の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十九日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、元侍従長山本悟の拝謁を受けられる。山本より勲一

等瑞宝章を拝受のお礼言上を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

十二月

十日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、昨九日誕生日を迎えた皇太子妃と御対面になり、挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十五日 月曜日 賢所御神楽につき、夕刻、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報

二十三日 火曜日 正午、吹上大宮御所において、天皇・皇后と御対面になり、天皇誕生日の御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十五日 木曜日 大正天皇例祭につき、御昼餐前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二十六日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、正仁親王・同妃華子、崇仁親王妃百合子、憲仁親王・同妃久子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。ついで天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、清子内親王と御対面になり、歳末の御挨拶をお受けになる。また、この日誕生日を迎えた故宣仁親王妃喜久子と御対面になり、誕生日と歳末の挨拶を併せてお受けになる。その後、側近奉仕者より歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

平成十年一月

二十七日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、島津貴子と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

平成十年（西暦一九九八年） 九十五歳

一月

一日 木曜日 新年につき、吹上大宮御所において、午前、側近奉仕者、皇太后宮職職員の祝賀を受けられ、午後、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、清子内親王の祝賀を、ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

七日 水曜日 昭和天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。ついで同祭皇霊殿の儀に参列した側近奉仕者並びに元側近奉仕者の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

八日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、池田厚子と御対面になる。以後、皇太子・同妃始め皇族・御親族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十一日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。以後、

この年も概ね毎週土曜日又は日曜日に行われた定例の御参殿を始め、随時、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三十日 金曜日 孝明天皇例祭につき、正午過ぎ、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二月

八日 日曜日 崇光天皇六百年式年祭につき、正午過ぎ、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二十三日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十四日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、昭和天皇斂葬の日につき参殿の元侍従長山本悟の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三月

二日 月曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、前任の皇太后宮女官田村和子、新任の皇太后宮女官内藤清子の拝謁を受けられる。ついで新任の皇太后宮職御用掛田村和子の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、官報

六日 金曜日 満九十五歳のお誕生日を迎えられる。

平成十年三月

正午、吹上大宮御所において、天皇・皇后の祝賀を、続いて文仁親王・同妃紀子始め皇族皇太子・同妃は、長野県行啓中・御縁故者の祝賀をお受けになる。ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて側近奉仕者、皇太后宮職職員、元側近奉仕者の祝賀をお受けになる。元皇族・御縁故者の祝賀の後、連翠において、天皇・皇后御主催の御祝宴が行われる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、報道発表資料、皇太后、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報、官報

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、この一年は軽微の御風気があった以外は御体調も順調であること、天候によりお庭や室内を御散策になること、毎週土曜日又は日曜日に御参殿の天皇・皇后及び清子内親王と、また隔週の都合の良い日に参殿の正仁親王・同妃と、折々に参殿の皇太子・文仁親王と御対面になること、御高齢に伴う御負担軽減の観点から今回より祝賀は正午から吹上大宮御所において行うことなどが発表される。○報道発表資料、皇太后、内廷皇族等誕生日綴

九日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、皇太子・同妃と御対面になり、去る五日より七日までの長野県行啓一九九八年バリンピック冬季大会に臨席及び地方事情視察の挨拶、また去る六日の皇太后お誕生日の祝賀を受けられる。○皇

太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十二日 木曜日 翌月学習院初等科に眞子内親王入学につき、万那代料を御贈進になる。○贈賜録

二十一日 土曜日 春季皇霊祭及び同神殿祭につき、正午過ぎ、吹上大宮御所において御遙拝になる。

○皇太后宮女官日誌、報道発表資料、宮内庁庁報

二十七日 金曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、来る三十一日をもつて定年退職の管理部長杉

原正純^{元侍}、四月一日をもつて京都事務所長に転出の式部官斎藤誠治^{元皇太后宮職参事}の拝謁を受けられる。○皇太

后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

午後、吹上大宮御所において、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王参殿につき御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三十一日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、この日定年退職の皇太后宮職参事平田英勝の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

四月

一日 水曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮職参事渡辺昭治・皇太后宮職御用掛平田英勝の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報、官報

三日 金曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

七日 火曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{三百本}を賜う。○贈賜録

十日 金曜日 午後、皇居東御苑二の丸庭園を車椅子にて御散策になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十八日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、この日誕生日を迎えた清子内親王より挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

五月

七日 木曜日 吹上大宮御所において、皇太后宮職御用掛田村和子の拝謁を受けられ、叙勲のお礼言上をお受けになる。○吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、官報

十二日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、正仁親王及び島津貴子と御対面になる。島津貴子より初孫誕生の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

十四日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后と御対面になり、来る二十三日より英国・デンマーク国両国を御訪問の御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

吹上大宮御所において、皇太后宮職御用掛白戸厚の拝謁を受けられ、叙勲の挨拶を受けられる。○皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、官報

十五日 金曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、三時五十分同邸に御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

六月

二日 火曜日 午後二時二十九分葉山御用邸を御出門、三時四十九分皇居に還啓される。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

六日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、昨日英国・デンマーク国御訪問より御帰国の天皇・皇后と御対面になり、御挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

三十日 火曜日 吹上大宮御所において、前皇太后宮職参事平田英勝、前皇太后宮女官小野慰子・同田村和子をお召しになり、御夕餐を共にされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

七月

九日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、翌十日より北海道へお成りの正仁親王・同妃華子と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

三十日 木曜日 明治天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

九月

十五日 火曜日 敬老の日につき、皇后より盛花・菓子を、また秋篠宮家より切り花を贈られる。○皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

二十二日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王と御対面になり、親王・同妃より来る二十五日から十月八日までアルゼンチン国を訪問につき、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十三日 水曜日 秋季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

三十日 水曜日 平成十年度共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励の

平成十年十月・十一月・十二月

ため金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

十六日 金曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、三時五十分同邸に御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十七日 土曜日 神嘗祭につき、葉山御用邸において神宮を、続いて賢所を御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報

十八日 日曜日 正午過ぎ、御機嫌伺いのため参邸の元侍従職事務主管補佐河井直及び元侍従職専門官清水達哉に御会釈を賜う。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌

十一月

二日 月曜日 午後二時三十分葉山御用邸を御出門、三時五十分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十二月

九日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子妃と御対面になり、挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十五日 火曜日 賢所御神樂につき、夕刻、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十三日 水曜日 正午、吹上大宮御所において、天皇・皇后と御対面になり、天皇誕生日の御挨拶をお受けになる。天皇・皇后の御退出後、側近奉仕者より祝賀をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十五日 金曜日 大正天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二十八日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、正仁親王妃華子、崇仁親王・同妃百合子、憲仁親王と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。ついで側近奉仕者より歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報

二十九日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、歳末の御挨拶をお受けになる。○皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

平成十一年一月

平成十一年（西暦一九九九年）

九十六歳

一月

一日 金曜日 新年につき、吹上大宮御所において、午前、側近奉仕者、皇太后宮職職員の祝賀を受けになる。午後、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、清子内親王の祝賀を、ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

三日 日曜日 元始祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

七日 木曜日 昭和天皇十年式年祭につき、同祭山陵の儀に御名代として正仁親王妃華子を差し遣わされる。また武蔵野陵に菓子・榊をお供えになる。午後、吹上大宮御所において、正仁親王妃と御対面になり、復命をお受けになる。ついで同所において皇霊殿を御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

八日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、池田厚子と御対面になる。以後、皇太子・同妃始め皇族・御親族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

十七日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。以後、この年も毎週土曜日又は日曜日の定例参殿を中心に、随時、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

三十日 土曜日 孝明天皇例祭につき、正午過ぎ、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二月

二十三日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報

二十四日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、「昭和天皇をお偲びする集い」開催につき参殿した元侍従長山本悟始め元側近奉仕者等四十名の拝謁をお受けになる。「昭和天皇をお偲びする集い」は、去る一月七日の昭和天皇十年式年祭の際に、元側近奉仕者等が皇霊殿の儀と山陵の儀とに分かれて参列し一堂に会する機会がなかったため、この日、吹上大宮御所・花蔭亭において開催される。参集の元側近奉仕者等に賜品がある。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

三月

六日 土曜日 満九十六歳のお誕生日を迎えられる。

正午、吹上大宮御所において、天皇・皇后の祝賀を、続いて皇太子・同妃始め皇族、元皇族・御縁故

平成十一年四月

者の祝賀をお受けになる。ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて側近奉仕者、皇太后宮職職員、元側近奉仕者等の祝賀をお受けになる。元皇族・御縁故者の祝賀の後、連翠において、天皇・皇后御主催の御祝宴が行われる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、皇太后、内廷皇族等誕生日綴、宮内庁庁報、官報

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、この一年は軽微の御風気があった以外は御体調も順調であること、御日常は気候の良い時にお庭を車椅子にて御散策になること、毎週土曜日又は日曜日に御参殿の天皇・皇后及び清子内親王と、隔週の都合の良い日に参殿の正仁親王・同妃と、折々に参殿の皇太子・同妃、文仁親王・同妃と御対面になることなどが発表される。○皇太后、内廷皇族等誕生日綴

二十一日 日曜日 春季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

四月

一日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の侍従次長石藤守雄、前任の侍従次長八木貞二の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

三日 土曜日 神武天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

五日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の皇太后宮侍医橋爪敬三、前任の皇太后宮侍医作

田英成の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報、官報

吹上大宮御所において、正仁親王・同妃華子と御対面になり、ギリシヤ国・モナコ国訪問より帰国去月三十日の挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

八日 木曜日 天皇御即位十年並びに天皇皇后御結婚四十年につき、お悦びとして天皇・皇后に鮮鯛代料・お品料を御贈進になる。○贈賜録

九日 金曜日 この日バザーを開催する常磐会に、カーネーション三百本を賜う。○贈賜録

十一日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王と御対面になり、佳子内親王より学習院幼稚園に入園の挨拶を受けられる。佳子内親王の幼稚園入園につき、万那代料を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

十八日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、この日誕生日の清子内親王より挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌

五月

十二日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、来る二十六日よりペルー国・ボリビア国を訪問する清子内親王より挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十四日 金曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、三時五十分同邸に御到着になる。

平成十一年五月

平成十一年六月

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

六月

一日 火曜日 午後二時三十分葉山御用邸を御出門、三時五十分皇居に還啓される。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十一日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、元皇太后宮大夫事務取扱宮尾盤元宮内
庁次長の拝謁を受けら

れる。宮尾より今春勲二等旭日重光章受章のお礼言上を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、

吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報、官報

十二日 土曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、去る九

日ペルー国・ボリビア国訪問から帰国の清子内親王より挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮

お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十六日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、去る十四日米国・カナダ国旅行より帰国の正仁親王・

同妃華子と御対面になり、挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内

庁庁報

十七日 木曜日 午後、吹上大宮御所において、前皇太后宮侍医作田英成の拝謁をお受けになる。つ

いで作田と御夕餐を共にされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

十八日 金曜日 この日正田英三郎皇后の
御父死去につき、霊前に枕花をお供えになる。二十日、霊前に榊・

菓子・果物・金員をお供えになる。二十一日には青山葬儀所において葬儀執行につき、皇太后宮使と

して皇太后宮大夫井関英男を差し遣わされる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、宮内庁庁報

二十八日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、皇太子と御対面になり、第一期喪明け 正田英三郎死去により第一期十日、第二期二十日、それぞれの挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十九日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、清子内親王と御対面になり、第一期喪明け 正田英三郎死去により第一期十日、第二期二十日、それぞれの挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

七月

八日 木曜日 午後、吹上大宮御所において皇后と御対面になり、第一期御喪明け 皇后の御父正田英三郎死去により第一期二十日、第二期三十日、第三期四十日、それぞれの御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

三十日 金曜日 明治天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報

八月

二十三日 月曜日 去る四日高松宮邸において足部骨折の故宣仁親王妃喜久子のお見舞いのため、皇太后宮女官長を聖路加国際病院に差し遣わされ、お品を御贈進になる。十二月にもお見舞品を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録

平成十一年九月・十月・十一月

九月

五日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、来る十二日から米国ハワイ州訪問の清子内親王より挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十三日 木曜日 秋季皇霊祭及び同神殿祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、宮内庁庁報

二十六日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、去る二十日米国訪問から帰国の清子内親王より挨拶を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

三十日 木曜日 平成十一年度共同募金運動を実施する社会福祉法人中央共同募金会に、事業御奨励のため金一封を賜う。○内賜録、宮内庁庁報

十月

十五日 金曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門、三時四十九分同邸に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十一月

二日 火曜日 午後二時二十九分葉山御用邸を御出門、三時五十六分皇居に還啓される。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、幸啓録、宮内庁庁報

十二日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、皇太后宮侍医大橋敏之の拝謁を受けられる。大橋より勲三等瑞宝章受章のお礼言上をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、贈賜録、官報

二十七日 土曜日 この日佳子内親王着袴の儀につき、文仁親王・同妃紀子に五種交魚代料を、佳子内親王に万那代料を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、贈賜録

十二月

一日 水曜日 御来訪中のヨルダン国王アブドッラー・ビン・アル・フセイン及び王妃ラーニア・アル・アブドッラーのための宮中晩餐の際、国王・王妃より天皇を通じて皇太后に花籠の御贈進がある。三日、答礼晩餐の折、天皇より国王・王妃にお礼の御伝達がある。○皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、皇族関係録、宮内庁庁報

二日 木曜日 午後、お咽せによる御嘔吐がある。酸素吸入を受けられ、御容体は安定される。その後、御休養になる。よって、ベルギー国訪問の挨拶のため参殿の皇太子・同妃との御対面はお取りやめになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

十五日 水曜日 賢所御神楽につき、夕刻、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十三日 木曜日 正午過ぎ、吹上大宮御所において、天皇・皇后と御対面になり、天皇誕生日の御

平成十一年十二月

挨拶をお受けになる。天皇・皇后の御退出後、側近奉仕者の祝賀をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、

皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、宮内庁庁報

二十五日 土曜日 大正天皇例祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日

誌、皇太后宮お日誌、宮内庁庁報

二十七日 月曜日 午後、吹上大宮御所において、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、正仁親王、崇仁親王と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。ついで皇太子・同妃と御対面になり、歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴、

宮内庁庁報

二十八日 火曜日 午前、吹上大宮御所において、皇太后宮大夫・皇太后宮職参事・皇太后宮女官長等より歳末の挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、吹上大宮御所殿部日誌

二十九日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になり、歳末の御挨拶をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、吹上大宮御所殿部日誌、内廷皇族等誕生日綴

平成十二年（西暦二〇〇〇年）

九十七歳

一月

一日 土曜日 新年につき、吹上大宮御所において、午前、側近奉仕者・皇太后宮職職員等の祝賀をお受けになる。午後、天皇・皇后、皇太子、文仁親王妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、清子内親王及び寛仁親王の祝賀を、ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀をお受けになる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録

七日 金曜日 昭和天皇祭につき、午前、吹上大宮御所において御遙拝になる。正午、同所において、

同祭皇霊殿の儀に参列した側近奉仕者・元側近奉仕者等の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太

后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録

九日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。以後、この年も五月まで概ね毎週土曜日又は日曜日に行われた定例の御参殿を始め、随時、天皇・皇后と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、内廷皇族等誕生日綴

十八日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、正仁親王と御対面になる。以後、皇太子・同妃始め

皇族と随時、御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、内廷皇族等誕生日綴

三十日 日曜日 孝明天皇例祭につき、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌

平成十二年二月・三月

二月

二十三日 水曜日 午後、吹上大宮御所において、この日誕生日を迎えた皇太子と御対面になる。○

皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録

三月

六日 月曜日 満九十七歳のお誕生日を迎えられる。

正午、吹上大宮御所において、天皇・皇后の祝賀を、続いて皇太子・同妃始め皇族、元皇族・御縁故者の祝賀をお受けになる。ついで宮内庁長官・宮内庁次長・侍従長・侍従次長の祝賀を、続いて側近奉仕者、皇太后宮職職員、元側近奉仕者の祝賀をお受けになる。元皇族・御縁故者の祝賀の後、連翠において、天皇・皇后御主催の御祝宴が行われる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、内

廷皇族等誕生日綴、官報

お誕生日に当たり、宮内庁より皇太后の御様子について、この一年は数回軽微な御発熱があつた以外は御体調も落ち着かれていますこと、御日常は気候の良い時にお庭を車椅子にて御散策になること、毎週末に御参殿の天皇・皇后及び清子内親王と、また都合の良い日に参殿の正仁親王・同妃華子と、折々に参殿の皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子及び内親王方と御対面になることなどが発表される。○

内廷皇族等誕生日綴

八日 水曜日 仲哀天皇千八百年式年祭につき、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌

誌

二十一日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王と御対面になる。なお、今般秋篠宮家移居につき、万那料を御贈進になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、贈賜録

三十一日 金曜日 午後、吹上大宮御所において、本日付で退官の宮内庁次長森幸男・皇太后宮女官福永泰子の拝謁をお受けになる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録

四月

三日 月曜日 午前、神武天皇祭につき、吹上大宮御所において御遙拝になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌

四日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、新任の宮内庁次長湯浅利夫・皇太后宮職御用掛福永泰子の拝謁を受けられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録

十八日 火曜日 午後、吹上大宮御所において、この日誕生日の清子内親王と御対面になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録

二十七日 木曜日 バザーを開催する常磐会に、カーネーション^{二百本}を賜う。○皇太后宮職殿部雑録、贈賜録

五月

十五日 月曜日 元内閣総理大臣小渕恵三昨十四日死去につき、この日、青山葬儀所において行われる通夜に、皇太后宮職参事渡辺昭治を差し遣わされ、生花をお供えになる。○皇太后宮職殿部雑録、贈賜録

平成十二年六月

十六日 火曜日 葉山御用邸に行啓のため、午後二時三十分御出門になり、三時五十分御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、幸啓録、報道発表資料

この日、東伏見慈治^{御弟}が卒寿を迎えるため、京都事務所長斎藤誠治を差し遣わされ、お悦びとして万那料・お品を賜う。○贈賜録

六月

二日 金曜日 葉山御用邸より還啓のため、午後二時三十分御出門になり、三時五十分御到着になる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、幸啓録、報道発表資料

四日 日曜日 午後、吹上大宮御所において、天皇・皇后及び清子内親王と御対面になる。先般オランダ国・スウェーデン国御訪問を終えて御帰国の天皇・皇后より、皇太后にお土産の品が贈られる。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録

八日 木曜日 日本武道館における「故小渕恵三」内閣・自由民主党合同葬儀の執行に際し、皇太后の御使として皇太后宮職参事渡辺昭治を差し遣わされる。○皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、報道発表資料

十四日 水曜日 午後九時過ぎ、呼吸不全を起こされる。皇太后宮侍医による拝診の結果、直ちに酸素吸入による適応措置が行われる。その後、皇太后の若干の御呼吸困難は、翌十五日朝まであり、侍医の酸素吸入による加療が数回繰り返されたが、その後、意識レベルが低下する状態になられる。○

皇太后宮お日誌、香淳皇后大喪記録

十五日 木曜日 この日、御朝食・御昼餐をお取りにならないままお過ごしになり、午後三時、皇太

后宮侍医長加藤健三・同侍医橋爪敬三の拝診をお受けになる。

皇太后の御容体に悪化の様子が見られたことを受け、三時二十分頃、皇太后宮大夫井関英男は御所に赴き、天皇・皇后に状況を報告する。直ちに天皇・皇后は清子内親王を伴われ、皇太后をお見舞いになる。これ以後、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子・眞子内親王・佳子内親王、正仁親王・同妃華子、崇仁親王・同妃百合子、寛仁親王妃信子、東久邇信彦夫妻始め御近親の方々が相次いで吹上大宮御所にお見舞いのため参殿する。

五時、皇太后宮大夫の記者会見が行われ、皇太后の御体調について発表される。その要旨は次のとおり。

六月十四日、御夕食までは御異常を認められませんでした。夜になり若干呼吸がお苦しい様子となり、酸素吸入による加療が行われました。

六月十五日、午後、皇太后宮侍医長の総合所見で、呼吸、脈拍、血圧等の数値的变化はありませんが、御病状は軽いものではなく、天皇皇后両陛下にお知らせした方が良いと判断しました。そこで直ちに、皇太后宮大夫が御所にお伺いし、御病状を天皇皇后両陛下にお直きに申し上げました。

天皇皇后両陛下は、直ちに吹上大宮御所にお上がりになり、お見舞いされてそのままお側近くでお付添いになっています。清子内親王殿下も御一緒です。

侍医グループは、呼吸不全が心臓に及ぼす影響を心配しています。

現段階では、御重体、御重篤といった状態ではありません。

平成十二年六月

九時三十三分、再び皇太后宮大夫の記者会見が行われ、皇太后の御病状について発表される。その要旨は次のとおり。

本日午後五時の発表以降、御容体に変化はありません。

酸素吸入を継続しています。他の医学的処置は行っていません。

皇太后宮侍医が電話で外部の専門家にも意見を聞きましたが、特に治療の方針に変更はありません。

天皇皇后両陛下は、御夕食のためいったん御所にお戻りになりましたが、その後再び皇太后陛下の御寝室にお入りになっています。

他の皇族方もお見舞いになっています。

宮内庁病院に御入院にならないのは、吹上大宮御所にも宮内庁病院と同じ内科的な機能（設備）が備わっているためであります。

翌十六日午前一時頃、しばらくの間はこのままの状態が続くのではないかという皇太后宮侍医長の判断により、天皇・皇后は一旦吹上御所にお戻りになる。皇太子・同妃始め各皇族、御近親の方々もそれぞれ帰る。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録

十六日 金曜日 引き続き、酸素吸入などの加療や看護をお受けになる。午前四時の拝診により僅かに血圧の降下傾向が見られると共に、全体的な御容体の悪化が認められる。早朝には御容体が急変し、血圧の低下が著明となられる。六時四十分より天皇・皇后及び清子内親王は再び吹上大宮御所を訪ねられ、お見舞いになる。

八時三分、宮内庁次長湯浅利夫の記者会見が行われ、皇太后の御容体について発表される。その要旨は次のとおり。

皇太后陛下には、本日午前七時過ぎ、吹上大宮御所におきまして、御危篤の状態になりました。

その御容体につきましては、血圧が低下され、呼吸が荒くなり、脈が弱くなっておられます。今後、必要に応じて、御状態をお知らせいたします。

その後、十時を過ぎる頃から、血圧の低下が極めて著明となり、午後零時半頃からは医師が脈拍・血圧・呼吸・体温を測定するようになる。

三時三十分、総務課長加地隆治によるブリーフィングが行われ、皇太后の御容体について発表される。その要旨は次のとおり。

血圧は、早朝発表した時点より更に少し下がっています。その他については、現在お変わりなく、小康状態を保たれている状況にあります。

天皇皇后両陛下、皇太子同妃両殿下、文仁親王同妃両殿下並びに清子内親王殿下は十一時四十分ごろ、いったん御所にお帰りになり、清子内親王殿下を除き十三時四十分ごろ、再び吹上大宮御所にお上がりになりました。

正仁親王同妃両殿下も十三時ごろ吹上大宮御所に上がられました。

清子内親王殿下は十四時三十分ごろ吹上大宮御所に上がられました。

その他の方々も小康状態ということで、吹上大宮御所に入入りされています。

平成十二年六月

午後三時現在、吹上大宮御所には、天皇皇后両陛下、皇太子同妃両殿下、文仁親王同妃両殿下、清子内親王殿下並びに正仁親王同妃両殿下がいらつしやいます。

皇太后は御危篤となられ小康が続いていたが、夕方になり急激に御体調が悪化する。御公務のため御所にお帰りになっていた天皇は、急遽吹上大宮御所の御病床にお戻りになる。皇太后は、天皇・皇后、皇太子・同妃、文仁親王・同妃紀子、清子内親王、正仁親王・同妃華子始め皇族、御近親の方々が見守られる中、四時四十六分、吹上大宮御所において崩御される。御歳九十七。

五時二十五分より、宮内庁講堂において宮内庁長官鎌倉節の記者会見が行われ、この日午後四時四十六分に皇太后が崩御されたことが発表される。八時三十五分、宮内庁より皇太后崩御について、次の長官謹話が発表される。

皇太后陛下におかせられましたは、一昨日の夜中以来、御容体が急変し、懸命な看護にもかかわらず、老衰のため崩御されました。国民の一人として、また、皇室への奉仕の任務にあたる者といたしまして、深い悲しみを禁じ得ません。

皇太后陛下の御生前、毎週のようにお訪ねになり、心を込めてお尽くしになっておられた天皇皇后両陛下におかれましては、一入お悲しみも深く、お力落としの御様子と拝察申し上げ、胸の痛む思いが致します。また、皇太后陛下の御長寿を願い続けてこられた皇族各殿下、御親族の方々も、さぞお悲しみのことと拝察申し上げます。

皇太后陛下には、御結婚以来六十年を超える長い歳月にわたり、昭和天皇のお側にあつて真心を込めてお尽くしになりました。また、母として、祖母として、御養育にお心を砕かれました。

皇太后陛下の国民への思いは深く、福祉・医療・教育・文化など様々な面から国民の生活に関心をお寄せになり、常に国民の幸福を祈り続けておられました。

国民は、皇太后陛下のこうしたお優しいお心と常に変わることのない心温まる御様子に、敬愛の念を抱き、また、困難な時にあつては心のやすらぎを覚えしました。

平成へと時代は移り、皇太后陛下には、昭和天皇との歳月を懐かしみ、また、天皇皇后両陛下、皇族殿下方、御親族方の御訪問にお心を和まされ、穏やかで控えめな日々を送られました。

幾多の思い出とともに、在りし日の皇太后陛下のお姿が思い起こされ、痛惜の念は尽きることはありません。

ここに、謹んで心から哀悼の意を表する次第であります。

また、内閣総理大臣森喜朗の謹話は次のとおり。

本日、皇太后陛下の崩御の報に接し、哀痛の念を禁じ得ません。天皇皇后両陛下、皇族各殿下、御近親の方々のお悲しみはいかばかりかと拝察申し上げます。

皇太后陛下におかせられては、その御生涯の大半を昭和天皇の後として正に激動の時代をお過ごしになりました。社会が大きく変化していく中で、困難な時期にありましても、皇太后陛下には、昭和天皇の良き御伴侶として、公私にわたり、常に、誠心誠意お尽くしになりました。私も国民は深く心打たれると同時に、大きな励みとなったところであります。

また、その御生涯を通じ、国際親善や芸術、文化、医療、福祉など幅広い分野にわたり、昭和天皇をお助けして、お務めになりました。殊に、そのお優しいお人柄からにじみ出るほほえみを

平成十二年六月

湛えられたお姿に心から敬愛の念を抱いたのであります。

昭和天皇が崩御せられた後は、在りし日の昭和天皇をお偲びになりつつ、慎ましくお過ごしになつていらっしゃいました。

皇太后陛下が崩御せられたことは誠に哀惜に堪えず、ここに、国民と共に謹んで哀悼の意を表します。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雜録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

この日午前八時三十分より、宮殿北溜記帳所において、内閣総理大臣等特定範圍者のお見舞記帳が行われる。同所での記帳者は八十五人に及ぶ。

この他、御縁故者等のお見舞記帳が午前九時より宮殿西車寄及び宮内庁庁舎西口玄関において、一般のお見舞記帳が午前十一時三十分頃より皇居坂下門外において、それぞれ行われる。また、正倉院事務所を始め宮内庁各地方機関においても準備が整い次第、お見舞記帳が開始される。坂下門外の記帳所では、終了予定時刻の午後五時になつても記帳者が相次いだことから暫時延長していたところ、五時十五分頃、皇太后崩御の連絡があり、直ちに終了となる。他の場所での記帳も同様に崩御の連絡を受け、直ちに終了となる。お見舞記帳者数は、御縁故者等は六十三人、一般は皇居の八百六十八人と各地方機関の二百三十二人を合わせて千百人に達する。○香淳皇后大喪記録

皇太后の崩御に伴い、皇居及び宮内庁各地方機関におけるお見舞記帳が弔問記帳に切り替えられる。期間は六月十六日^{地方機関は十七日}から二十五日^{一部は七月二十四日}までとされる。内閣総理大臣等特定範圍者の弔問記帳者

数は三百七十二人、御縁故者等の弔問記帳者数は五百十六人、一般は皇居が九万二千四百三十一人、

宮内庁各地方機関が四万一千六百三十七人に達する。

この他、東宮御所における弔問記帳者は六十二人、各宮家における弔問記帳者は四百七人、各地方自治体において自主的に行われた弔問記帳者は十萬九千百十三人^{記帳簿が宮内庁に送付及び持参されたもの}に上る。また、百二十二箇国及び三日本政府代表部^{国際連合日本政府代表部等}の在外公館総数二百六館においても弔問記帳が行われる。○香淳

皇后大喪記録

皇太后崩御につき、天皇・皇后・各皇族はこの日より百五十日^{第一期三十日、第二期三十日、第三期九十日}服喪される。○儀式・行事録、香淳皇后大喪記録

この日、故皇太后の御喪儀に係る重要事項の審議、必要な連絡調整等の事務を行う内部協議機関として、宮内庁に皇太后大喪儀委員会が設置される。委員長は宮内庁長官鎌倉節^{平成十三年四月二日、湯浅利夫}、副委員長は宮内庁次長湯浅利夫^{平成十三年四月二日、羽毛田信吾}・侍従長渡辺允・皇太后宮大夫井関英男・東宮大夫古川清・式部官長荻田吉夫、委員は審議官折笠竹千代以下八名、幹事は秘書課長鈴木武以下十八名で、参事は調査員山本充に委嘱される。なお、同委員会は平成十三年六月十八日付をもって廃止される。○儀式・行事録、香

淳皇后大喪記録

皇太后の崩御に際し、ベルギー国王・王妃及びフィンランド国大統領・同夫君より天皇・皇后に弔電が寄せられ、これに対しそれぞれ答電を寄せられる。また、大韓民国大統領始め八十一箇国の外国元首より天皇に弔電が寄せられ、これに対しそれぞれ答電を寄せられる。○香淳皇后大喪記録、官報

十七日 土曜日 午前、吹上大宮御所御寢室の故皇太后の御尊骸が、皇太后宮職の側近奉仕者により

平成十二年六月

御居間の御寝台に奉遷される。午後一時、天皇・皇后が御拝謁になり、ついで皇太子・同妃始め各皇族、元皇族及び御親族の拝謁が行われる。二時に内閣総理大臣・参議院議長・最高裁判所長官の、三時に宮内庁長官及び側近奉仕者の、四時に宮内庁幹部職員の拝謁が行われる。翌十八日午前十時に元側近奉仕者の拝謁が行われる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雑録、香淳皇后大喪記録

十八日 日曜日 午後六時より吹上大宮御所の御居間において御舟入が行われる。天皇・皇后、皇太子・同妃始め各皇族、元皇族及び御親族が御居間に入られる。池田厚子が榊に水を付け、白羽二重に覆われた御尊骸を清めた後、皇太后宮職の側近奉仕者により御尊骸が御内槽に斂められる。天皇・皇后以下参列者が、御絵の道具・万年筆など故皇太后の御愛用品数十点を御内槽にお納めになる。その後、御内槽は側近奉仕者が捧持して呉床上に奉遷される。ついで天皇・皇后以下参列者が御拝礼になる。なお、御内槽は御枕を南側にして御剣を置き、東側壁面には白張屏風が置かれる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録

十九日 月曜日 午後六時より吹上大宮御所の御居間において斂棺が行われる。天皇・皇后が御居間にお出ましになり、最後のお別れとして御拝謁になる。ついで皇太子・同妃始め各皇族、元皇族及び御親族が拝謁する。続いて天皇・皇后、皇太子・同妃始め各皇族、元皇族及び御親族が御尊骸の周りに茶袋・灯芯袋・綿袋などを順次お入れになる。次に側近奉仕者等により御内槽が御棺に斂められる。工務課技官の奉仕により銅板蓋が密封され、天皇・皇后、皇太子・同妃始め各皇族、元皇族及び御親族は御退出になる。側近奉仕者等が御霊柩を呉床上に奉遷し、装飾も整い、これにより御居間は櫛殿崩御後殯宮移御までの間、御霊柩を奉安する御殿 となる。櫛殿には、枕元に御剣が置かれ、御棺の後方には白張屏風が、手前左右に

は白木菊灯台一対が立てられる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雜録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録

この日より殯宮移御の儀が行われる二十八日まで、觀殿祇候が行われる。祇候時間は原則として一時間を単位として、天皇・皇后、皇太子・同妃始め各皇族、元皇族及び御親族等は午前九時から午後九時までの時間帯に祇候され、それ以外の時間帯は側近奉仕者及び元側近奉仕者等が祇候する。○皇太后

宮職殿部雜録、香淳皇后大喪記録

この日、参議院議長斎藤十朗は皇居において、宮内庁長官を経て弔詞を奉呈する。○香淳皇后大喪記録、官報

この日、故皇太后の陵所が武蔵陵墓地のうち八王子市長房町に定められ、武蔵野陵の東側が候補地とされる。○儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

二十日 火曜日 この日の閣議において、故皇太后の大喪儀に関する件について、葬場殿の儀は平成十二年七月二十五日に豊島岡墓地内で行われること、陵は武蔵陵墓地内に定められること、宮内庁に皇太后大喪儀各儀の大綱に係る審議を行うため皇太后大喪儀委員会が設置されること、皇太后大喪儀及び陵の營建のために必要な費用は国費で支弁することが了解される。○儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

この日、皇太后大喪儀等に関する宮内庁内部の指針として、皇太后大喪儀等挙行方針が定められる。これにより、皇太后大喪儀は皇室の行事として、原則として皇室の伝統的方式に従い、旧皇室喪儀令や貞明皇后大喪儀、昭和天皇大喪儀及び皇族喪儀の先例を参酌し、時代に即応し、国民感情に沿った

ものとして行うこととされる。また、皇太后大喪儀は、各儀及び関連行事並びに皇太后大喪儀に伴う儀式とに区分することなども定められる。なお、昨十九日には天皇が皇太后大喪儀の喪主になられることが発表される。○儀式・行事録、香淳皇后大喪記録

二十五日 日曜日 午前十時三十分より吹上大宮御所櫺殿において、櫺殿十日祭が行われる。天皇が御拝礼の上、御退出になる。次に皇后が御拝礼の上、御退出になる。続いて皇太子・同妃始め各皇族、池田隆政及び同夫人厚子、島津久永及び同夫人貴子、久邇邦昭及び同夫人正子が拝礼する。なお、御孫に当たる東久邇信彦・高木文子・壬生基博・東久邇真彦・東優子各夫妻は、祭典には参列せず拝礼のみ行う。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、香淳皇后大喪記録

二十六日 月曜日 午前十一時より陵所において、皇太后大喪儀陵所地鎮祭の儀が行われる。日枝神社宮司宮西惟道ほか七名が奉仕する。○皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

この日、皇太后大喪儀委員長たる宮内庁長官が、卜部亮吾に皇太后大喪儀祭官長を、小幡祥一郎平成十三年四月一日より前田利信・醍醐忠久に同祭官副長を、殿岡荒友以下十八人に同祭官を、牧野名助以下十八人に同祭官補を委嘱する。いずれも皇室と御縁故のある者、元宮内庁職員、元皇宮警察本部職員等から選出の上、

委嘱する。○儀式・行事録、香淳皇后大喪記録

二十八日 水曜日 午後六時より皇太后大喪儀殯宮移御の儀が行われる。式部官長及び皇太后宮大夫が前行し、側近奉仕者四人が左右二人ずつに分かれ、奉遷車の前方左右両側の御紼を執り、御霊柩が櫺殿からお出ましになる。御霊柩の左右両側にはそれぞれ四人ずつ計八人の側近奉仕者が侍し、皇太后宮職参事が御剣を捧持して続く。皇太后宮女官長が随従し、天皇・皇后がお続きになり、宮内庁長

官・侍従長・侍従・女官長・女官が随従する。御霊柩は、吹上大宮御所御車寄において奉遷車から移御台に遷され、さらに轎車に奉遷された後、御霊柩の首位部側に案が置かれ、御剣が安置される。ついで天皇・皇后が御料車に御乗車になり、霊輦は吹上大宮御所御車寄を御出発、宮殿に向かわれる。霊輦のお道筋に当たる乾通り及び山下通りには、宮内庁職員三百八人及び皇宮警察本部職員二百三十七人の計五百四十五人が整列して奉迎する。

六時二十四分、霊輦が宮殿御車寄にお着きになる。御霊柩は側近奉仕者等によって轎車から奉遷車に奉遷され、天皇・皇后はこれをお見守りになる。式部官長及び皇太后宮大夫が前行し、側近奉仕者四人が左右二人ずつに分かれ、奉遷車の左右両側の御紼を執り、御霊柩は殯宮に充てられた連翠南にお進みになる。御霊柩の左右両側にはそれぞれ四人ずつ計八人の側近奉仕者が侍し、皇太后宮職参事が御剣を捧持し、皇太后宮女官長が随従し、天皇・皇后がお続きになる。雉子の間内からは皇太子・同妃始め各皇族が供奉し、御親族総代の代表の池田隆政夫妻及び島津久永夫妻が後に続き、宮内庁長官・侍従長・女官長・大喪儀委員・侍従・女官が随従する。御霊柩が殯宮にお着きになり、奉安された後、御霊柩の首位部北側に御剣案が置かれ、その上に御剣が安置される。天皇、続いて皇后がお一方ずつ御拝礼の上、御退出になる。次に皇太子・同妃始め各皇族が拝礼して退出する。ついで御親族総代の代表の池田隆政夫妻及び島津久永夫妻が拝礼して退出する。次に宮内庁長官以下が拝礼して退出する。この後、殯宮内陣の御座の前面左右に真榊各一株が樹てられ、御座の四隅に白木灯籠が置かれ、御霊柩の前の左右には白木菊灯台が置かれて御灯が点じられる。これにて殯宮の装飾が整い、典儀が始められる。祭官長が祭詞を奏し、天皇が殯宮にお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。ついで皇

平成十二年六月

后が殯宮にお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。ついで皇太子・同妃始め各皇族以下参列の諸員が順次拝礼し、九時十分、儀が終了する。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮お日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・

行事録、香淳皇后大喪記録、官報

十時より殯宮祇候が開始される。殯宮祇候は一日を八組に分けて、一組が一時間の祇候を行い、七月二十五日の殯宮四十日祭・斂葬当日殯宮祭の儀までの二十八日間、途中儀式・行事が行われる場合を除き、昼夜を通して行われる。祇候者の範囲は天皇始め皇族・元皇族・御親族・御縁故者・認証官・指定職^{（同相当を含む）}の者・国會議員・特別詮議者・元宮内庁職員及び元皇宮警察本部職員・宮内庁職員・皇宮警察本部職員などである。○香淳皇后大喪記録

この日午後六時三十分、御霊柩が奉安されていた吹上太宮御所御居間等を祓う、観殿祓除の儀が行われる。掌典筑波和俊ほか掌典補一名が奉仕する。○香淳皇后大喪記録

二十九日 木曜日 午前十時、殯宮において皇太后大喪儀殯宮移御後一日祭の儀が行われる。皇太子・同妃始め各皇族、故皇太后の御親族総代、内閣総理大臣・参議院議長・最高裁判所長官及び以上の者の配偶者、故皇太后の側近奉仕者ほか参列諸員が着床の後、天皇・皇后がお出ましになる。祭官長が祭詞を奏し、終わって天皇が御拝礼になり、次の御誄を奏される。

明仁謹んで

御母皇太后の御霊に申し上げます。

在りし日のお姿や明るいお声は今もよみがえって日夜心を離れず、思い出は尽きることがありません。

哀慕の情はいよいよ胸にせまるものがあります。

ここに、靈柩を殯宮にお遷しして、心からお祭り申し上げます。

ついで皇后が御拝礼になる。天皇・皇后が御退出の後、皇族以下参列諸員等が順次拝礼する。○皇太后

宮女官日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

この日より斂葬前日の七月二十四日までの間、殯宮日供の儀が行われる。○皇太后宮職殿部雑録、香淳皇后大

喪記録

三十日 金曜日 午前十時より午後三時まで殯宮において、皇太后大喪儀殯宮拝礼の儀が行われる。

国務大臣・参議院副議長・最高裁判所判事^{長官代行}及び以上の者の配偶者、内閣官房副長官・内閣法制局長

官及び以上の者の配偶者並びに内閣法制次長、衆議院・参議院の議員並びに事務総長・事務次長・法

制局長・法制次長・衆議院調査局長・国立国会図書館長・同副館長、最高裁判所判事及びその配偶

者、高等裁判所長官及びその配偶者、特記した認証官以外の認証官並びに以上の者の配偶者、各省庁

の事務次官等で宮内庁長官の指定する者、都道府県の知事及び議会議長、指定都市の市長及び議会議

長、市長及び市議会議長のそれぞれの総代、町村の長及び議会議長のそれぞれの総代、その他別に定

める者が、国民の代表として拝礼する。なお皇族方から貞明皇后大喪儀及び昭和天皇大喪儀の例に倣

い、参列者の拝礼の際に御身内として立ち会いたいとの申し出があり、文仁親王・同妃紀子、清子内

親王、憲仁親王・同妃久子、正仁親王・同妃華子、寛仁親王・同妃信子が交替で立ち会う。○皇太后宮

女官日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

平成十二年七月

七月

一日 土曜日 午前十時十五分より殯宮において、本邦駐在各国外交使節団の長及びその配偶者が順次拝礼する。出席国は百十九箇国より百九十一名に及ぶ。○儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

二日 日曜日 午前九時より午後五時まで、宮殿東庭において殯宮一般拝礼が行われる。長和殿の東庭側廊下中央部には故皇太后のお写真が掲げられ、拝礼者総数は一万八百四十人に上る。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

五日 水曜日 午前十時より殯宮において、皇太后大喪儀殯宮二十日祭の儀が行われる。祭官長が祭詞を奏した後、天皇がお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。ついで皇后がお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。引き続き皇太子・同妃始め各皇族以下参列の諸員が拝礼する。○皇太后宮

女官日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

この日、衆議院議長綿貫民輔は皇居において、宮内庁長官を経て弔詞を奉呈する。なお、皇太后の崩御に際し、都道府県の知事・議会議長等から奉呈された弔詞は八十二通に上る。○香淳皇后大喪記録、官報
十日 月曜日 去る八日、故皇太后の追号が香淳^{こうしゆん}皇后と定められ、この日午前十時より殯宮において、皇太后大喪儀追号奉告の儀が行われる。皇太子・同妃始め皇族以下参列の諸員が着床した後、天皇・皇后がお出ましになり着床される。祭官長が祭詞を奏し、終わって天皇が御拝礼の上、次の御誄を奏して追号を御奉告になる。

明仁謹んで

御母皇太后の御霊に申し上げます。

長き歲月、昭和天皇をお助けになり、温かく、香しくしました在りし日のお姿は今も深く心に残っております。

ここに、追号して香淳皇后と申し上げます。

次に皇后が御拝礼の後、天皇・皇后が退出される。ついで皇族以下参列の諸員が拝礼する。

なお、追号の出典は『懷風藻』にて、安倍朝臣広庭の詩「春日侍宴」の「花舒桃苑香、草秀蘭筵新」の中から「香」が、山前王の詩「侍宴」の「四海既無為、九域正清淳」の中から「淳」が取られた。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雜録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

十五日 土曜日 午前十時より殯宮において、皇太后大喪儀殯宮三十日祭の儀が行われる。祭官長が祭詞を奏した後、天皇がお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。ついで皇后がお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。ついで皇太子・同妃始め各皇族以下参列の諸員が拝礼する。○皇太后宮女官

日誌、皇太后宮職殿部雜録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

二十四日 月曜日 午前十一時より陵所において、皇太后大喪儀陵所祓除の儀が行われる。日枝神社宮司宮西惟道ほか八名が奉仕する。○皇太后宮職殿部雜録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

吹上大宮御所の御和室及び御居間の二間を権殿とし、午後六時より皇太后大喪儀靈代奉安の儀が行われる。祭官長が祭詞を奏した後、天皇がお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。ついで皇后がお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。ついで皇太子始め各皇族以下参列の諸員が拝礼する。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雜録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

二十五日 火曜日 午前七時より殯宮において、皇太后大喪儀殯宮四十日祭・斂葬当日殯宮祭の儀が

平成十二年七月

行われる。祭官長が祭詞を奏した後、天皇が御拝礼になる。ついで皇后が御拝礼になり、天皇・皇后は殯宮を御退出になる。ついで皇太子始め各皇族以下参列の諸員が拝礼する。なお、殯宮四十日祭の儀と斂葬当日殯宮祭の儀は、斂葬が四十日目となったため、同じ日に併せて一つの儀式として行われる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雜録、香淳皇后大喪記録、官報

七時より吹上大宮御所の権殿において、皇太后大喪儀権殿四十日祭の儀が行われ、天皇より御代拝を仰せ付けられた侍従職御用掛八木貞二が権殿に参進し、拝礼の上退出する。ついで皇后より御代拝を仰せ付けられた侍従職御用掛鎌田純一が権殿に参進し、拝礼の上退出する。○皇太后宮職殿部雜録、儀式・

行事録、香淳皇后大喪記録、官報

八時二十分、宮殿において皇太后大喪儀輜車発引の儀が行われる。御霊柩が殯宮からお出ましになり、宮殿南溜に御着になる。式部官長・皇太后宮大夫が前行し、側近奉仕者四人が左右二人ずつに分かれ、奉遷車の左右両側の御紼を執り、御霊柩の左右両側にはそれぞれ四人ずつ計八人の側近奉仕者が侍し、皇太后宮職参事が御剣を捧持し、皇太后宮女官長・宮内庁長官・祭官長・御親族総代の代表・大喪儀委員が随従する。南車寄の障子が開けられ、御霊柩が奉遷車から輜車に奉遷される。天皇・皇后は御料車に御乗車になり、各皇族始め御列に入る諸員も乗車する。楽師が道楽^{宗明}を奏する中、八時五十分、霊輜は南車寄を御発になる。眞子内親王・佳子内親王・宜仁親王が南車寄にて霊輜を奉送し、宮殿東庭上には整列した諸員四百九十五人が奉送する。また、鉄橋外から正門駒寄までの両側には皇宮儀仗隊八十六人が堵列儀仗を行ってお見送りする。御車列は祭官長、式部官長・皇太后宮大夫が前行し、次に霊輜がお進みになり、皇太后宮女官長及び御沓捧持の皇太后宮女官、宮内庁長官が後ろに続

き、次に天皇・皇后が進まれ、皇太子、文仁親王・同妃紀子、清子内親王、正仁親王・同妃華子、寛仁親王・同妃信子、憲仁親王・同妃久子が続く。ついで御親族総代、女官長・女官、侍従・大喪儀委員、東宮大夫が従い、この他、前駆・後衛・警視庁単車・警視庁側車・皇宮警察側車が加わり、皇居正門より豊島岡墓地に向かわれる。この間、皇宮警察本部音楽隊以下六団体により、各所において「哀之極」が演奏される。九時二十分、豊島岡墓地正門に御到着になる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雜録、香淳皇后大喪記録、官報

豊島岡墓地内葬場の総門前にて靈輦を中心に徒歩列^{御葬列}が編成される。樂師が道樂を奏し始めると、徒歩列が葬場殿にお進みになる。御列は大喪儀副委員長^{宮内庁次長}を先頭に、祭官補・祭官・祭官副長・祭官長・樂師・首席樂長・書陵部長・式部官長・皇太后宮大夫の順序で前行し、次に靈輦がお進みになる。輦側者及び皇宮儀仗が輦側に侍し、後には皇太后宮女官長及び御查捧持の皇太后宮女官が並んで進み、宮内庁長官がこれに続く。次に天皇・皇后が御歩を進められ、侍従長・侍従、女官長・女官がそれぞれ御後に続く。次に皇太子・東宮大夫・皇族・御親族総代が二列にて進み、大喪儀委員がこれに続く。靈輦は葬場総門を入られ、九時三十七分葬場殿に御到着になる。御靈柩は香淳皇后の側近奉仕者等により靈輦から葬場殿内の喪輿に奉安される。なお葬場殿前方には楯・梓各一對、黄錦旛・白錦旛各一旛、黄旛・白旛各四旛が樹てられる。次に天皇・皇后が皇太子始め皇族その他を従えて右幄舎にお出ましになり着床される。それより葬場殿の儀が始められる。樂師が誄歌を奏する裡に祭官副長・祭官が御饌・幣物を奉奠し、終わって祭官長が祭詞を奏する。ついで天皇が玉串を奉奠の後、御拝礼になり、次の御誄を奏される。

平成十二年七月

明仁謹んで

御母香淳皇后の御霊に申し上げます。

昭和天皇の崩御あそばされてより十一年、吹上大宮御所にお過ごしの日々が穏やかにして一日も長からんことを願い、お側近く過ごしてまいりましたが、この夏の始め、むなしく幽明界を異にするにいたりました。

在りし日のお姿を偲びつつ、櫺殿に、また殯宮におまつり申し上げること四十日、ここに斂葬の日を迎え、葬列をととのえ、昭和天皇のお側にお送り申し上げます。

お慈しみの下にあった去りし日々を思い、寂寥は深く、追慕の念は止まるところを知りません。誠に悲しみの極みであります。

ついで皇后が御拝礼になり、皇太子始め皇族等も拝礼する。次に内閣総理大臣が拝礼の上、次の誄を奏する。

本日ここに、香淳皇后の葬場殿の儀が執り行われるに当たり、国民と共に、謹んで弔意を表し奉ります。

香淳皇后は去る六月十六日、九十七歳の御生涯を静かに閉じになりました。我が国の歩みと国民の幸せをやさしく見つめてこられた香淳皇后の崩御に、私どもは深い悲しみを禁じ得ません。

香淳皇后は、昭和という激動の時代に、六十数年にわたって昭和天皇と苦楽を共にされ、お側にあつて昭和天皇をお支えになりました。特に先の大戦後の時期にあつては、国民生活の混乱と窮貧に深く心を痛められ、国民と共にその苦難を乗り越えようとされた昭和天皇の御心に添うべ

く、皇后としてのお務めをお果たしになったのであります。また、母としても、お子様方の御養育にお心を砕かれました。

国民は、香淳皇后の明るく、飾らないお人柄や、国際親善、芸術、文化、医療、福祉など幅広い分野にわたる熱心な御活動に接し、皇室に対する敬愛の念を深めてまいりました。外国の方々からも「エンプレス・スマイル」と称賛された、いつも絶やされることのなかった気品と慈愛に満ちた笑顔や、昭和天皇との仲むつまじいお姿は、今でも私どもの心に鮮やかに焼き付いております。

私ども国民一同は昭和天皇と香淳皇后の御心に思いを致し、世界の平和と福祉の増進のため、今後とも最善の努力を尽くしてまいる決意であります。

ここに謹んで、御霊の永久に安らかならんことをお祈り申し上げます。

平成十二年七月二十五日

内閣総理大臣 森喜朗

次に衆議院議長・参議院議長・最高裁判所長官・タイ王国国王御名代王女シリントーン・外交団長のジブチ国特命全権大使等が拝礼する。終わって天皇・皇后が御退出になる。ついで諸員が拝礼し、十一時四十分から午後零時三十分まで一回目の一般拝礼が行われる。終わって誄歌の奏楽裡に幣物・御饌を撤し、幔門が閉じられ、御霊柩が輜車に奉遷される。再び幔門が開かれ、霊輜が葬場総門にお着きになる。陵所に向かう車列が整えられ、天皇・皇后、皇族その他が御乗車になる。霊輜は一時三十分豊島岡墓地正門を御出門、首都高速道路・中央自動車道を経由して、武蔵陵墓地に向かわれる。御車

平成十二年七月

平成十二年七月

列は午前同様、靈輦を中心に編成され、天皇・皇后の御料車がお続きになり、皇太子始め各皇族の御召車が随従し、御親族総代の代表・大喪儀委員等の車両が続く。なお、御靈柩奉遷の際、社団法人八瀬童子会会長保司博以下四人の代表者の内二人が補助者として従事する。

御靈柩が陵所に向けて御出発の後、葬場殿に香淳皇后の御遺影が掲げられ、二時から五時まで二回目の一般拝礼が行われる。両度の拝礼者総数は二千五百十二人に上る。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

三時、靈輦が武蔵陵墓地総門に御到着になる。天皇・皇后以下が御降車になり、徒歩列が整えられる。ついで楽師が道楽を奏する中、靈輦が表参道をお進みになる。御列は大喪儀副委員長宮内庁次長を先頭に、

宮内庁職員が黄幡・白幡各二旒、楯・杵各一對、黄錦幡・白錦幡各一旒、大真榊一對を捧持してこれに続き、次に祭官補及び宮内庁職員が担ぐ御饌櫃・御幣櫃が進み、さらに祭官補・祭官副長・祭官・祭官長・楽師・首席楽長・書陵部長・式部官長・皇太后宮大夫の順に前行し、次に靈輦がお進みになる。輦側者及び皇宮儀仗が輦側に侍し、後には皇太后宮女官長及び御沓捧持の皇太后宮女官が並んで進み、宮内庁長官がこれに続く。次に天皇・皇后が御歩を進められ、侍従長・侍従、女官長・女官がそれぞれ御後に続く。次に皇太子・東宮大夫・皇族・御親族総代が二列にて進み、大喪儀委員がこれに続く。三時二十分、靈輦が祭場殿にお着きになる。それより御列が解かれ、御靈柩が輦車から奉遷車に奉遷される。強い雨の中、天皇・皇后が祭場殿前にて御拝礼になり、ついで皇族・御親族が拝礼する。その後、御靈柩が側近奉仕者等の奉仕により移御台インクライン奉遷車に奉遷され、御靈柩は祭場殿後方丘上の御須屋にお進みになる。御着後、御靈柩は御石槨に奉安され、御沓・御遺品箱が納められる。次

に御石槨の蓋石が閉じられ、書陵部長の奉仕にて正仁親王揮毫の陵誌が納められる。陵誌は長さ八十五センチメートル、幅五十五センチメートル、厚さ十二センチメートルの花崗岩^{稲田石}製で、次の誌文が刻まれる。

香淳皇后

武蔵野東陵

平成拾貳年六月拾六日

午後四時四拾六分崩御

平成拾貳年七月貳拾五日斂葬

次に天皇・皇后、皇太子始め各皇族、御親族総代の代表が御須屋にお出ましになり、お一方ずつお土掛けをされる。その後、作業員により御墳穴の覆土、土饅頭の築造等が行われる。

七時二十四分より陵所の儀が行われる。天皇・皇后が皇太子始め各皇族を従えて右幄舎にお出ましになり、御着床になる。誄歌の奏楽裡に祭官副長以下が御饌・幣物を奉奠し、ついで祭官長が祭詞を奏する。続いて天皇が祭場殿にお進みになり、御拝礼の上、御告文を奏される。ついで皇后が御拝礼になり、皇太子始め各皇族も順次拝礼する。御親族総代の代表が拝礼した後、天皇・皇后が皇太子始め各皇族を従えて御退出になる。御親族総代ほか参列の諸員等が拝礼した後、誄歌の奏楽裡に祭官副長以下が幣物・御饌を撤して儀は終了する。なお、御靈柩奉遷の際、社団法人八瀬童子会の代表出演者二人が補助者として従事する。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雑録、香淳皇后大喪記録、官報

この日、香淳皇后の陵名が、武蔵野東^{むさしのひがしのみぎの}陵と定められる。○香淳皇后大喪記録、官報

平成十二年七月

平成十二年八月

この日より権殿日供の儀が始められる。また、翌二十六日より、山陵日供の儀が行われる。両儀は翌平成十三年六月十五日まで毎日行われる。○香淳皇后大喪記録

二十六日 水曜日 午前九時、吹上大宮御所の権殿において、皇太后大喪儀斂葬後一日権殿祭の儀が行われる。祭官長が祭詞を奏した後、天皇が権殿にお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。ついで皇后が権殿にお出ましになり、御拝礼の上、御退出になる。続いて皇太子始め各皇族以下参列の諸員が拝礼する。午後四時よりは武蔵野東陵において、皇太后大喪儀斂葬後一日山陵祭の儀が行われる。祭官長が祭詞を奏し、天皇が祭場殿にお進みになり御拝礼の上、御退出になる。続いて皇后が祭場殿にお進みになり、拝礼されて御退出になる。ついで皇太子始め各皇族以下参列の諸員が拝礼する。

○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

二十八日 金曜日 この日より八月六日までの十日間、香淳皇后山陵一般参拝が行われる。参拝者総数は一万六千二百四十五人に上る。○香淳皇后大喪記録、官報

八月

四日 金曜日 午前九時より吹上大宮御所の権殿において、皇太后大喪儀権殿五十日祭の儀が行われる。祭官長が祭詞を奏した後、天皇が権殿にお出ましになり、御拝礼になる。ついで皇后が権殿にお出ましになり、御拝礼になる。続いて皇太子・同妃始め各皇族以下参列の諸員が拝礼する。午後四時より武蔵野東陵において、皇太后大喪儀山陵五十日祭の儀が行われる。祭官長が祭詞を奏し、天皇が祭場殿にお進みになり御拝礼になる。ついで皇后が祭場殿にお進みになり御拝礼になる。続いて皇太

子・同妃始め各皇族以下参列の諸員が拝礼する。なお、この後九月二十三日には皇太后大喪儀権殿百日祭の儀及び皇太后大喪儀山陵百日祭の儀がそれぞれ行われる。ついで九月二十五日、陵前において皇太后大喪儀山陵起工奉告の儀が行われ、以後、御陵の本格的な工事が進められる。○皇太后宮女官日誌、皇太后宮職殿部雜録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

平成十三年（西暦二〇〇一年）

四月

十七日 火曜日 社会福祉事業御奨励のため、香淳皇后御遺産の内から日本赤十字社・財団法人結核予防会・社会福祉法人恩賜財団母子愛育会・財団法人長寿科学振興財団に対し、天皇よりそれぞれ金一封が賜与される。○香淳皇后大喪記録

六月

十五日 金曜日 御陵の竣工に当たり、午前十一時より陵前において、皇太后大喪儀山陵竣工奉告の儀が行われる。武蔵野東陵の陵形は上円下方で、多摩東陵と同一形式・同一規模の上円三段・下方三段とされる。上円部は直径十五・五メートル、高さ三・二五メートル余りで、下方部の幅_{最下段}は二十

平成十三年八月

四・五メートル、高さ三メートルである。陵前には香淳皇后が御生前に愛されたハナモモ・バラ・イチハツ・エビネ等の御愛樹三十種・御愛草十種が、吹上大宮御所及び各御用邸から移植等により植栽される。

翌十六日は香淳皇后の崩御から一周年に当たり、皇太后大喪儀権殿一周年祭の儀及び皇太后大喪儀山陵一周年祭の儀が行われる。十七日に香淳皇后一周年祭後一日御禊の儀及び香淳皇后一周年祭後一日大祓の儀が行われる。十八日には霊代奉遷の儀が行われ、香淳皇后の御霊代が吹上大宮御所の権殿から皇霊殿に遷される。○皇太后宮職殿部雑録、儀式・行事録、香淳皇后大喪記録、官報

八月

八日 水曜日 日本赤十字社・朝日新聞社主催の追悼展「香淳皇后のご生涯と作品」が、この日より二十一日まで日本橋の高島屋において、また二十三日から二十七日まで京都の高島屋において開催される。十三日には同展を御覧になるため、皇后が日本橋の高島屋に行啓される。○皇太后宮職殿部雑録、官報、追悼展香淳皇后のご生涯と作品